

京	都	府
1・11 ㊦聖公会聖ヨハネ教会の牧師館、新築落成。 聖公会京都地方部資料	4・7 ㊦浄土宗私立高等学院(上京区鹿ヶ谷町)を私立仏教専門学校と改称。 ☆仏教大学	
1・11 ㊦天田郡仏教団が福知山の明覚寺で設立される(出獄人免囚の保護教化を目的)。 日出 1・9	4・20 ㊦竜谷日曜学校設立。 中外 4・21	
1・15 ㊦海住山寺(相楽郡瓶原村)の慈心(覚真)の記念碑を同村民が建立(慈心は貞応1に同村民のために和東川から水路3,753間を新設し、壱田180町歩を拓き、年間5,400余石の米を産出した恩人)。 中外 大1・12・9	4・一 ㊦牧野虎次(京都教会牧師)が、全国協同伝道 <sup>(2)</sup> 委員に就任。 京都基督教会50年史	
1・17 ㊦天理教の京都研究会が、天理教河原町青年会と改称。1・23 発会式、大3・1・14 深谷徳郎が会頭に就任(大5・2・9 解散)。 河原町大教会史	5・5 ㊦私立酬恩夜学校が、私立酬恩学校と改称。 府庁文書 大2-44	
1・一 ㊦京都教会が感化事業のために、大二義塾を設立。同友会も生まれ、市内各教会牧師の協力により出獄人感化・細民同化事業を行なう。 京都基督教会50年史	5・9 ㊦金光教の吉田教会(左京区)設立。 金光教年表	
2・19 ㊦葦原寂照(高雄山神護寺住職)没。同師は、古来から伝わる声明の伝授に貢献。 中外 2・23、3・13	5・10 ㊦中外日報社主催の宗教研究会を府立図書館で開催(すべての旧習や情実を離れ、宗教思想を忠実に研究する会、講師に西田幾多郎・朝永三十郎・年岡鷹市・岡林司ら著名人 <sup>(3)</sup> があたる)。 中外 4・22	
2・21 ㊦東山高台寺の鐘樓焼失。日出 2・22	5・13 ㊦宇治黄檗山万福寺前に京阪電車宇治線停留所が決定されたため、宇治五ヶ庄四辻に駅設置の運動をしていた村民が黄檗山を襲い、万福寺建物に損傷を与える。 中外 5・13	
2・22 ㊦京都慈善連合会を洛南東寺濟世病院で開催(毎月会員中輪番で行なう。西本願寺慈善財団・平安養育院・京都救済院・京都感化院伏見慈善会・子守学校・酬恩夜学校などが参加)。 中外 2・25	6・2 ㊦新京極金蓮寺(時宗四條派)の開山、浄阿真観上人の遠忌で、永代10万霊百僧供養を修し、空也堂で誦念仏を執行、また3月に金蓮寺移転問題の交渉委員に牧野真禎(宝福寺住職)を選出。 中外 6・5	
2・一 ㊦平安神宮の東方美術館跡敷地(約7,300坪)に、新神苑が竣工。 日出 2・21	6・2 ㊦西尾幸太郎(平安教会牧師)・原田助(同志社社長)が朝鮮・満州へ布教伝道のため出発。 同志社90年小史、平安基督教会略史	
3・10 ㊦古義真言宗と真言宗各派が、東寺に事相講伝所維持財団を設立。 仏教年鑑 昭6	7・7 ㊦松島篤、聖公会聖三一教会の牧師に就任。 聖公会京都地方部資料	
3・19 ㊦鈴木靈峰、 <sup>(1)</sup> 太秦広隆寺の住職に就任。 府庁文書 大2-44	7・13 ㊦元治1の戦死者で長州浪人の勤王志士8人を埋葬する鞍馬口の上善寺(浄土宗)で同志士50年忌法要を執行、福原隆成同寺住職が発起。 中外 6・25	
3・22 ㊦洛南東寺境内の濟世病院に対する京都市の補助金年100円を、この年から300円に増額を市会で決議(明44年度に市が同院に補助金1,500円を下付、以後毎年100円を補助していた)。 中外 3・27	7・一 ㊦浄土宗京都教務所を知恩院山内忠岸院に設置、漆葉法雲(もと大宮教区長)を所長心得に定める。 中外 7・15、29	
3・23 ㊦丹波教会の胡麻会堂竣工、献堂式を挙行。 丹波基督教会史	8・4 ㊦八坂神社西楼門の修理竣工、奉告祭が行なわれる。 日出 8・5	
3・一 ㊦東本願寺連枝、大谷勝尊没。 中外 4・1	8・13 ㊦京都神職会が祝詞・祭式の講習会を開催(〜26日)。講習終了証所持者は神職に採用されるとあって、元官吏・元教員・巡査から理工科大学生・華族・郵便局長・軍人・神社雇らなどまでが受講(講師、青木平安神宮宮司・氷室北野神社主典)。 日出 8・11	
4・1 ㊦左京区岡崎東天王町の真宗大谷派岡崎別院を維持するため岡崎別院維持財団を設立。 仏教年鑑 昭6	9・15 ㊦私立真宗大谷大学が下京区高倉通五条下ル富屋町の仮校舎から、愛宕郡上賀茂村大字小山の新校舎に移転(11・9 新築移転落成式)。 府庁文書 大2-44、日出 10・29	
4・1 ㊦市内真宗大谷派末寺有志が創立した真宗教団創立1周年記念伝道を、松原道西洞院の光円寺で開催、大谷瑩亮(東本願寺)、鴨覚亮(大谷大学)が講演。 中外 3・31		

参	考	日	本
(1) 鈴木靈峰：明37・4 臨濟宗妙心寺派 花園学院教授となり、明38・3、徳島県美馬郡岩倉村真楽寺住職に就任、大2・5、私立真言宗連合京都中学国語漢文科を担当。		1・31	『真宗全書』刊行開始(〜大4・1・11 49巻完結、大4・2・5〜大5・6・28続26巻刊行)。
(2) 全国協同伝道：この年4月、モット博士が、エジンバラ世界宣教会継続委員として来日し、各派協同の精神を鼓吹。その結果、国内キリスト教各派の間に協同伝道が成立。		3・25	神官神職の服装規則を制定。
(3) 宗教研究会講師：ほかに米田庄太郎・谷本富・高田保馬・中井宗太郎・上田敏・植田寿蔵・桑木巖翼・松本文三郎・栗原基・深田康算・藤代禎輔・赤松智城・貴志二彦・湯浅吉郎(府立図書館長)。		3・一	柳田国男ら、郷土研究会機関紙『郷土研究』を創刊。
		4・21	官国幣社以下神社神職の奉務規則を公布。
		4・一	キリスト教万国伝道協議会を東京で開催。
		5・31	上智大学設立認可、授業開始(最初のカトリック大学)。
		6・13	内務省宗教局を文部省に移管し、宗教行政と神社行政との分離を徹底。
		6・23	教務所・説教所の名称には寺院に似たものを避けるよう通牒。
		6・一	南条文雄、ケルンと合同で『梵文妙法蓮華経』を刊行完成。
		8・1	日本組合基督教会の朝鮮大会を京城で開催(〜5日)。
		8・一	世界仏教徒大会を米国サンフランシスコで開催、日本仏教界各宗派代表参加。
		8・一	天理教山口教会長の大西愛治郎、山口市で天理教ほんみちを開教。
		9・一	天理教満州布教管理所規程制定。11・23 天理教満州布教管理所設立。
		9・一	姉崎正治、ハーバード大学で日本宗教史を講義。
		10・5	津田左右吉、『神代史の新しい研究』刊行。
		11・22	府県郷村社の神饌幣帛料供進を、祈年・新嘗・例祭の3祭と定める。
		11・一	曹洞宗大学、東京府下駒沢に移転。
		12・8	奈良東大寺大仏殿の修復工事完成、開殿式。
		12・25	天理教本部神殿竣工。大3・4・11、教祖殿竣工。
		この年	▷ 大連聖公会開設。

京 都 府
<p>10・11 ㊟伏見稲荷神社神殿の新築落成し、正遷宮式を挙行(10・11遷宮式、10・12遷宮奉告祭、10・13~17奉祝祭)。 日出 10・11</p> <p>10・12 ㊟元治甲子(1年)兵乱の殉難志士50年特別祭典を東山の霊山招魂場で執行、東京靖国神社から京都養正社へ25円の供物料おられる。 日出 10・11</p> <p>10・21 ㊟私立京都高等女学校が下京区五条堀川西入ル柿本町から下京区今熊野町へ移転認可される(大3・9新校舎で授業を開始)。 文部省告示174号</p> <p>11・一 ㊟西本願寺の改革運動が活発となり、東京に猶興会、大阪に愛宗会など結成、教団の教学・財政の混乱を批判。 中外 11・19、大正仏教史</p> <p>12・一 ㊟桃井日精、大井日住にかわり本門法華宗管長に就任、また瀬島日精、本門宗管長に就任。</p> <p>12・一 ㊟加佐郡仏教団が免囚保護事業を開業。 日出 4・27</p> <p>この年 ▷ ㊟西田天香、鹿ヶ谷に一灯園を建立(明38・4、西田天香が郷里滋賀県長浜で氏神境内愛染堂に籠り啓示をうけて開教)。 宗教大観3</p>

参 考	日 本
○府下基督教の教派・形勢 (大2末調査)	
	会堂およ び講義所 布教者
日本組合基督教会	19 25
日本基督教会	3 6
日本聖公会	7 14
日本メソジスト教会	4 7
普及福音教会	1 2
同胞教会	1 1
救世軍	1 1
日本ナサレン基督教会	1 6
天主公教会	4 4
ハリストス正教会	2 5
資料 府誌	

京	都	府
<p>1・10 ㊤真宗大谷派婦人法話会、諏訪町魚棚下ル同会支部で施米を実施(貧民の多い上長者町へ施米券250枚、七条へ200枚、ほかは100枚ずつ配布)。 日出 1・7</p> <p>1・18 ㊤京都教会が会堂の新築を決定。2月から1万5千円の募金を開始。11月までに1万円集まる(大4・12着工、大5夏竣工、大6・4・13献堂式)。 京都教報</p> <p>1・一 ㊤宇治郡内各宗僧侶、宇治郡役所内に出入保護のため宇治郡慈教会を設立。愛宕郡にも愛宕郡四恩会を設立。伏見慈善会は免困保護事業を取扱うため会則を変更。 日出 1・7</p> <p>2・2 ㊤洛陽教会の集中伝道が行なわれ、海老名弾正・宮川経輝も丹波地方で伝道を行なう(〜8日)。 日出 2・5</p> <p>2・11 ㊤内務省、京都市内の優良な慈善財団に補助金を交付(施薬院協会の施薬院に250円、東寺内済世病院<sup>(1)</sup>に250円、子守学校に150円、酬恩夜学校に100円をそれぞれ交付)。 日出 2・21</p> <p>2・17 ㊤西本願寺の疑獄事件(慈善財団の基金流用)で内局交替。5・14宗主大谷光瑞、本願寺住職および管長を辞任。 中外 2・17、5・14、15</p> <p>3・9 ㊤金光教の四条分会が四条通坊城角に設立され、社殿竣工(4・2遷座式をおこなう)。 日出 4・18、金光教年表</p> <p>3・15 ㊤東山の智積院(新義真言宗智山派)が、専門学校令による私立智山勸学院の設立を認可される(大3・4・1開校、院長には宮本隆範が就任)<sup>(2)</sup>。 府庁文書 大3-53、54</p> <p>3・一 ㊤京都市が行なった道路拡張・電鉄・水道などの諸工事で、各所から発掘された石像約3,000体を壬生寺に収集し、地藏供養を執行(壬生寺では住職北川智泉をはじめ矢野長蔵・石原耕太郎らが同寺地藏院旧跡に同石像を安置し、明治記念塔を建立)。 日出 3・25</p> <p>4・15 ㊤真言宗連合京都大学が真言宗連合高野大学と合併し、真言宗連合大学と改称。 文部省告示73号、府庁文書 大3-53</p> <p>4・17 ㊤泉涌寺山内即成就院法安寺の二十五菩薩来迎会が再興される(1・20に同寺の住職釈玄龍により菩薩会の発起人会が開かれ、茂山千五郎に菩薩会の古式を伝習させた)。 日出 1・22</p> <p>4・22 ㊤日本聖公会第11回総会を京都で開催(議長マキム)。 日本聖公会100年史</p> <p>5・5 ㊤乃木神社の建設用敷地として、伏見桃山百間長屋東北の約1,600坪を選定し、地主との間に買収の交渉を開始。同社殿は神戸の村野山人が9万円の私財を投入し、用材を旅順から運んで建設に決定(大4・7内務省神社局認可、大5・2・27竣工)。 日出 5・7、大4・7・7</p>	<p>5・5 ㊤下賀茂神社、明44から改築を開始した本殿等が竣工し、遷座式を執行。 日出 5・6</p> <p>5・10 ㊤カスパート長老・安部騰執事が、聖公会の聖ヨハネ教会での職を辞任(7・1後任長老として、池沢駿太郎が就任、初の邦人長老)。 聖公会京都地方部資料</p> <p>5・24 ㊤㊤昭憲皇太后の御大葬遙拜式が、伏見稲荷神社・北野神社・天理教河原町分教会などで、また京都市内基督教信徒連合による奉悼式が、三条柳馬場の基督教青年会館で挙行。 平安基督教略史、日出 5・25</p> <p>6・25 ㊤真宗仏光寺派の真宗学院が廃校となる。 府庁文書 大3-53</p> <p>7・4 ㊤南条文雄、真宗大谷大学長に就任。<sup>(3)</sup> 府庁文書 大4-58</p> <p>7・15 ㊤聖公会では、大宮通元誓願寺上ルに借家し、講義所(弘道館と呼ぶ)を開設、設立者は山辺久吉(この講義所は、大8・5京都復活教会となる。初代の伝道師は、京大法学士の巽芳三郎)。 聖公会京都地方部資料、日本聖公会100年史</p> <p>7・21 ㊤京都教会牧師牧野虎次、台湾伝道のため渡台(〜8・13)。 京都基督教50年史</p> <p>8・7 ㊤釈宗演、花園学院院長に就任。 府庁文書 大3-54</p> <p>8・19 ㊤伏見稲荷神社で、対独戦勝祈禱を執行。9・14には対独宣戦奉告祭を挙行。勅使・知事らが参向。 稲荷年表</p> <p>8・一 ㊤同志社女学校のゼームズ館が新築竣工。 同志社小90年史</p> <p>9・9 ㊤上賀茂神社の神殿屋舎の修理(明44着工)がすみ、遷座式を挙行。 日出 9・9</p> <p>9・10 ㊤西本願寺の私立京都高等女学校(のちの京都女子高等学校)が、東山の大仏妙法院裏手の新校舎で授業を開始。 日出 9・3</p> <p>9・一 ㊤サザン女史が、大宮通元誓願寺上ルの聖公会弘道館に裁縫教授所を開設(東京和洋裁縫学校出身の西村牧子が指導)。 聖公会京都地方部資料</p> <p>10・3 ㊤聖公会の聖三一教会(烏丸下立売上ル)の婦人会は、軍国婦人活動の一端として慰問袋作製の資金づくりにバザーを開催(入場券2銭、8歳以下無料、純益112円41銭)。 日出 10・2、聖公会京都地方部資料</p> <p>10・22 ㊤西本願寺疑獄事件の判決を京都地方裁判所で言渡し。業務背任ならびに横領で赤松連城ら6人有罪。 日出 10・23</p> <p>10・一 ㊤高木台岳、臨済宗天竜寺派管長に就任。 官報 595</p>	

参	考	日	本
(1)	济世病院：大正2年度の救療患者数=新患者数5,136人・延人数37,573人、開院以来満4カ年救療患者数=新患者数18,159人、延人員128,723人。 日出 3・1	1・6	キリスト教新教各派が協同伝道の実行方法を決定(大6まで継続)、3月から全国協同伝道開始。
(2)	智山勸学院教授：4・2、木村政覚(宗乗)・高井観海(余乗)・村田光輝(宗乗と法式)・野口寛亮(余乗・声明)が同院教授に、泉芳環は同院梵文講師に決定。 府庁文書 大3-53、54	1・26	神宮祭祀令及び官国幣社以下神社祭祀令を公布。
(3)	真宗大谷大学哲学講座変更：「哲学史・認識論・印度哲学」を「哲学史・印度哲学・認識論・倫理学・宗教学・社会学・教育学・心理学」に変更。 府庁文書 大4-58	1・一	『浄土宗全書』の刊行完成。
		4・15	安中教会牧師の柏木義円、『上毛教界月報』で組合教会の同化主義的朝鮮人伝道方針を非難。
		5・13	全国仏教徒社会事業大会、東京で開催。
		6・21	仏教大学編『仏教大辞彙』(〜大11・1・83巻)刊行。
		8・19	神仏道教宗派事務報告例を定める。
		8・21	柏井園『基督教史』刊。
		8・24	留岡幸助、北海道社名淵に家庭学校分校(私立教護院)を創設。
		9・一	佐伯定胤、法相宗管長に就任。
		10・15	高楠順次郎・木村泰賢、『印度哲学宗教史』刊行。
		11・4	田中智学、国柱会(日蓮主義的国家主義団体)設立。
		12・16	宗教および古社寺保存に関する報告例を制定。
		12・31	中山新治郎(天理教真柱)没(49歳)。この年
		▷	僧侶参政権の差別撤廃運動開始。
		▷	土屋詮教『日本及日本人』で「宗制改革論」を論ず。
		▷	金森梅子、大日本大道教を組織。
ノ	11・14 ㊤仁和寺の宸殿・霊殿・勅使門・大玄閣など落成し、竣工奉告式を執行。 日出 11・5、府庁文書 大4-59	11・24	㊤下京区本町18丁目の慈眼庵を遺迎院と改称。 府庁文書 大4-58
		11・30	㊤桃井日威、本門法華宗管長に就任。 官報 588
		12・11	㊤天台宗妙法院と三十三間堂を維持するため妙法院維持財団を設立。 仏教年鑑 昭6
		12・一	㊤大谷光瑞、インド仏跡探検のため出発。 中外
		この年	▷ ㊤東京帝大の黒板勝美ら、三寶院古文書を調査。 日出 大6・8・23

京	都	府
1・6 ㊤深草の石峰寺(黄檗宗)本堂、乞食のたき火の不仕末により焼失、損害約2万円。 日出 1・7、府庁文書 大4-58		5・2 ㊤伏見区の藤森神社の本殿が新築落成し、正遷宮式を挙行。 日出 5・4
1・14 ㊤加佐郡新舞鶴町の鏡智院、本堂を新築(桁6間・梁6間)。 府庁文書 大8-57		5・15 ㊤東寺の真言宗連合法務所は4・13の連合制規改正で高野山に移転、新制規に基づき真言宗連合長者土宜法竜が退任し高野山管長密門宥範が就任。 日出 5・13
1・23 ㊤新島襄永眠25年追悼記念会が行なわれ、同志社で遺物展覧会を開催。小崎弘道・宮川経輝ら若王子の墓に参拝。 同志社90年小史、熊本バンド研究		5・21 ㊤田村初太郎(平安女学院長)没。 聖公会京都地方部資料
1・28 ㊤清水寺の西門修築竣工。 日出 1・31、府庁文書 大6-60		5・22 ㊤栗生光明寺の法主柴田証全が、浄土宗西山派管長に就任。 日出 5・27
2・16 ㊤大正天皇即位式を記念して、京都市内のキリスト教会が協同伝道を実施(～18日)、全市40カ所で連合家庭祈禱会を開く(4・中には、数十カ所で屋外大伝道、5・1～9 連夜大伝道講演会を開催。講師、新渡戸稲造・江原素六・海老名弾正・山室軍平・植村正久・宮川経輝・田川大吉郎・元田作之進ら)。 京都基督教会50年史		6・27 ㊤南桑田郡千歳村(現亀岡市)の出雲神社で、御大典記念事業として、神田を復興し御田植神事を行なう(その花踊は民俗芸能としても著名)。 日出 7・3
2・16 ㊤梨木神社(寺町広小路)、神楽殿の上棟式を挙行。 日出 2・16、17		7・5 ㊤平安教会の西尾幸太郎牧師、北海道に伝道(～9・12)。 平安基督教会略史
2・27 ㊤紀伊郡堀内村字板倉(現在の伏見区桃山町板倉周防)で、乃木神社建設の地鎮祭を執行。周防守屋敷跡の約2,800坪で祭主は城南宮の鳥羽重晴。 日出 2・16、28		7・14 ㊤宮津の桜山天満社社殿が新築され、記念祭を行なう。 日出 7・13
3・18 ㊤乙訓郡楊谷寺(海印寺村、現長岡町)で奥之院移転改築工事が竣工。府庁文書 大4-59		7・20 ㊤宮内省、新島襄没後25カ年にあたり、同志社設立の教育上の功績に対し、3,000円を下賜して褒賞。 同志社90年小史、日出 7・22
4・18 ㊤日蓮宗門下総合期成同盟会が設立され、同宗7教団管長が教団を統合することを決議。 日出 3・1、4、7		7・26 ㊤蘭田宗恵、仏教大学(現竜谷大学)学長に就任。 府庁文書 大4-46
4・22 ㊤北桑田郡山国村の常照寺宸殿が落成(天正乱後、同建物仮設のままに損壊が甚しく京都保勝会の寄付金で改築)。 日出 4・23		7・28 ㊤紀伊郡深草村の真宗院堂宇全焼。 府庁文書 大4-58
4・22 ㊤東本願寺の大門落成、三尊仏の遷座式を挙行。 日出 4・23		7・一 ㊤マックガブーン(平安中学講師)が、英文雑誌『大乘教徒』を創刊。 宗教界
4・23 ㊤三条の基督教青年会館で、基督教協同伝道準備会を開催、平安教会の西尾牧師・室町教会の日高牧師・聖公会の山辺牧師・中央教会の大田牧師・京都教会の牧野牧師が出席(伝道隊を3組に分け、1隊は24日から26日まで岡崎公園で天幕伝道、他の2隊は市内で路傍演説・印刷物配布)。 日出 4・23、25		6・20 ㊤裏寺町蛸薬師の光徳寺堂宇が、第二新京極の大火で焼失。 府庁文書 大8-83
4・一 ㊤八坂神社、官幣大社に昇格。 日出 4・11		9・一 ㊤寺本婉雅、京都帝国大学文科大学の西藏(チベット)語講師に就任。 府庁文書 大5-50
5・1 ㊤京都全市教会の協同大伝道を実施(～9日)。青年会館で講演会・教育家大会・婦人大会をひらき、帝大学生集会所で学生大会を開催。7日から9日まで市内各教会で、新渡戸稲造・海老名弾正らの講演あり。 熊本バンド研究、日出 4・29		10・1 ㊤聖公会が新舞鶴町字浜208番地に、舞鶴幼稚園を設立(園長村田松之助長老、保母4人、園児定員100人)。 聖公会京都地方部資料
		10・30 ㊤金光教、東山教会を設立。 金光教年表
		10・一 ㊤臨済宗各派連合による達摩大師1400年忌を京都公会堂で執行。 正法輪
		11・2 ㊤天皇御即位にあたり、古式にしたがい、東寺灌頂院で大元帥法を執行(～9日)。 府庁文書 大4-58
		11・10 ㊤護王神社の御祭神に新たに和気虫轟姫を加え、和気清麻呂公とあわせ祭神2座となる。 護王神社誌
		11・11 ㊤同志社で全国基督教信徒連合の御大典奉賀式が開かれる(～12日)。 日出 11・12、熊本バンド研究

参	考	日	本
(1) 水島大照：明43・2 に中舞鶴町字和田の長江寺(真言宗醍醐派)住職となり、同11・8、高野山大師教会支部長に就任。 府庁文書 大12		1・21	芳村正乗(神習教開祖)没(77歳)。
(2) 仏教徒の仏教非公認抗議：発端は各宗派仏教徒懇話会が大典における御苑内奉拝を決議したが、京都府鼓理事官は仏教徒が公認団体でないという理由でそれを拒絶したことに始まる。		1・25	中山正善、天理教管長に就任。
		2・8	森田悟由(曹洞宗大本山永平寺貫主)没(82歳)。
		2・一	石川素童、曹洞宗管長に就任。
		3・14	萩原雲来『梵漢対訳仏教辞典』刊行。
		3・15	赤沼智善、インドに留学。
		3・30	大阪三一神学校、聖公会神学院に合併。
		3・一	権田雷斧、新義真言宗豊山派管長に就任。
		4・7	日蒙仏教連合会設立。
		4・一	『続浄土宗全書』刊行開始。
		5・28	木村泰賢『印度六派哲学』刊行。
		6・26	天理教小川事件起る、本部役員松村吉太郎入獄(大5・8・30無罪)。
		10・4	市原盛宏(熊本バンド)没(58歳)。
		10・一	真田増丸、福岡県八幡で仏教済世軍を組織(大9・9 東京に進出、関孝順ら新宿駅頭などで軍旗を立てて街頭伝道を展開)。
		11・10	御大典に際し、新島襄(故)・留岡幸助・山室軍平・成瀬仁蔵・矢島樞子らキリスト教徒に初の叙位・叙勲・授章。
		11・15	賀川豊彦『貧民心理の研究』刊。
		11・一	山下現有、仏教各宗代表で即位の御大典に参列。
		12・11	仏教連合会結成。
		12・一	近角常観、東京森川町に求道会館を建立。
		この年	▷ 佐久間俊一、統一教会(御岳教所属)を設立。
11・11 ㊤水島大照、 <sup>(1)</sup> 真言宗各派連合高野山大師教会の中舞鶴支部を加佐郡中舞鶴町字和田に設立。 府庁文書 大12		11・21	㊤仏教系学校連合会(14校)の第1回大蔵会を真宗大谷大学で開催(～22日)。 日出 11・22
		12・5	㊤御大典を機に、臨時全国神職大会が京都府立第一高等女学校の講堂で開催、他府県から800人出席。 日出 12・6、稲荷年表
		12・9	㊤天理教京丹宣教所の設置が許可され、大7・3・29上川平三郎が所長に就任。 河原町大教会史
		12・10	㊤西本願寺で日本各宗派仏教徒大会を開催(仏教を公認教と認めない政府に抗議、 <sup>(2)</sup> また僧侶に被選挙権を与えるよう要求することなどを決議)。 日出 12・1、10

京	都	府
<p>1・14 ㊟聖公会の聖三一教会婦人会が、三条基督教青年会館で音楽会を開催(入場者1,000人)。聖公会京都地方部資料</p> <p>1・一 ㊟伊藤証信、『中外日報』(仏教新聞)の主筆となり、巻頭論文と信仰問題欄を担当(～大8・11)。また市内東山清水の自宅を東山閣と称し、信仰談話会(のち東京での信仰座談会、自由宗教座談会へ発展)を催した。藤井草宣・町田トシコ・松山亮・赤松常子・野淵昶らが同会に集う。中外</p> <p>2・20 ㊟与謝郡岩滝村の恵林院住職布目潮深、檀信徒が舞鶴軍港へ多く移住するため、恵林院を新舞鶴町字浜へ移転(6・1、恵林院を月宗寺と改称)。府庁文書 大5-56、大6-64</p> <p>2・21 ㊟同志社普通学校を同志社中学と改称。同志社90年小史</p> <p>2・一 ㊟爾慧淳、臨済宗東福寺派管長に就任、ついで5月に広田慈教が同管長に就任。官報</p> <p>3・8 ㊟寺本婉雅、真宗大谷大学のチベット語教授となる。</p> <p>3・10 ㊟天理教教主30年祭を、河原町大教会で執行(参拝者2,000人)。河原町大教会史</p> <p>3・22 ㊟天理教の平安西支教会、新築竣工、奉告祭を執行、深谷源次郎ら出席。同上</p> <p>3・31 ㊟津荷牧師、丹波教会牧師に就任。丹波基督教会史</p> <p>3・一 ㊟祇園八坂神社で官幣大社昇格を機に、境内の拡張を計画、中村楼・東山病院以下神幸道北方西門石段下までの民家を買収予定。費用約30万円、同社の氏子総代・清々講理事らが会合し募金方法を協議(11月、拡張を決定。八坂神苑会(会長、内貴甚三郎)を組織)。日出 3・4、4・7、6・18</p> <p>4・1 ㊟真宗大谷派の京都真宗教団成る。宗報</p> <p>4・14 ㊟洛西善峰寺堂塔伽藍(楼門・薬師堂・護摩堂・経蔵・五重塔など)修築落成。入仏式と本尊開扉を執行(～15日)、修築費は京都保勝会が4,500円を、寺側が5,500円を負担。日出 3・30、6・18</p> <p>4・22 ㊟大本が、その名を皇道大本と改称。大本70年史</p> <p>4・25 ㊟荒木敏雄、花園学院教授に就任(大7・11・5に私立智山勸学院教員となる)。府庁文書 大7-48</p> <p>4・一 ㊟加藤観海、浄土宗西山派の管長に就任。官報</p> <p>5・14 ㊟浄土宗西山派浄福寺(乙訓郡大原野村)が愛宕郡上賀茂村深泥池に移築竣工。府庁文書 大8-57</p>	<p>5・21 ㊟牧野虎次が京都教会牧師を辞任し、組合教会の専任理事に就任。京都基督教50年史</p> <p>5・26 ㊟小林義道、私立仏教専門学校の心理学・倫理学教授に就任(明41・3、浄土宗第五教区宗学教授卒、大3・7 東京帝国大学哲学科倫理学科卒)。府庁文書 大5-50</p> <p>8・一 ㊟内貴甚三郎ら京都の有力者、大6の孝明天皇50年式年祭に際し、同天皇が平安京最後の天子であることにちなみ、神宮建設あるいは記念事業を行なうことを協議。日出 8・14</p> <p>9・8 ㊟小西存祐、私立仏教専門学校の教員に就任(明42・3 宗教大学専門科第4部卒業後浄土宗留学生となり、宗乗・天台教義を研究、大3・4・6～大5・3・26私立宗教大学教授)。府庁文書 大5-50</p> <p>9・16 ㊟八木実道、私立臨済宗大学英语科・倫理科講師に就任(大3・1 愛知県西春日井郡清洲町の総見寺住職となり、大5・7 東京帝国大学文科大学哲学科心理学専攻卒)。同上</p> <p>9・一 ㊟村上専精、『真宗全史』を刊行。同書奥付</p> <p>10・6 ㊟組合教会第32回総会を京都教会で開催(～12日)。議長は小崎弘道。熊本バンド研究</p> <p>10・14 ㊟聖公会の聖三一教会婦人会が、三条の基督教青年会館で音楽会を開催。聖公会京都地方部資料</p> <p>10・23 ㊟金子大栄、私立真宗大谷大学宗乗科・余乗科教員に就任(明31・7、私立真宗大学卒)。府庁文書</p> <p>11・28 ㊟同志社、宮内省から下賜の御大典建築材料を用いて講武館を新築し、この日竣工(11・29、落成式)。同志社90年小史</p> <p>11・30 ㊟平安教会で、移転用地として烏丸通三条上ル西側に117坪6合を購入。平安基督教会略史</p> <p>11・一 ㊟高松孝治が聖公会の聖マリア教会長老に就任(昭4・4、辞任)。聖公会京都地方部資料</p> <p>11・一 ㊟西本願寺、御大典記念事業として仏教日曜学校を設立。中外</p> <p>11・一 ㊟吉水資融、黒谷金戒光明寺住職に就任。</p> <p>12・14 ㊟畠中博が、京都教会の第6代牧師に就任(大12・7、辞任)。京都基督教50年史</p> <p>12・31 ㊟伏見稲荷神社宮司の大貫真浦没。稲荷年表</p> <p>この年 ▷ ㊟聖ヨハネ教会(聖公会)の会館の一部に産婆学校が開設される。同教会の無果会は、この年5回の説教会を開き、青年信徒の活躍がめざましかった。聖公会京都地方部資料</p>	

参	考	日	本
		<p>1・25 天理教教主30年祭執行。</p> <p>1・一 高楠・松本・姉崎・神の4人が発起して東西両大学に宗教研究史会を設立(4・8 雑誌『宗教研究』を刊行)。</p> <p>1・一 黒田真洞没。</p> <p>2・3 ローマ教皇使節ペトレリー大司教、天皇に即位礼奉祝の親書奉呈。</p> <p>3・一 権田雷斧『曼荼羅通解』を刊行。</p> <p>4・8 仏教各団体、釈尊降誕祝賀連合花まつりを日比谷公園で開催、これから花まつりは各地で国民的年中行事となる。</p> <p>5・7 京都の妙心寺で仏教各宗派、共同して仏教護国団を設立。</p> <p>5・29 タゴール来日。</p> <p>5・一 日本聖公会のコンウォール=リー女史、草津救難事業に献身。</p> <p>5・一 榊亮三郎『梵蔵漢和四訳対校翻訳名義大集』刊行。</p> <p>7・一 西本願寺、御大典記念事業として仏教日曜学校を設立。</p> <p>8・8 旭日苗没。</p> <p>11・5 東京仏教護国団発会式。</p> <p>12・8 『真宗大系』(大14・2・28 37巻)刊行。</p> <p>12・一 倉田百三「出家とその弟子」を『生命の川』に発表。</p> <p>この年 ▷ 佐野学、マルクス主義の立場から宗教を批判。 ▷ 福山黙堂(永平寺貫主)没(76歳)。</p>	
↗	▷ ㊟京都と東京の帝国大学関係者が、宗教研究会を結成、雑誌『宗教研究』を創刊(昭13日本宗教学会に合併)。宗教研究 147 ▷ ㊟春、一灯園、鹿ヶ谷から山科に移転。宗教大観 3		

京	都	府
1・22 ㊤岡部讓(熱田神宮官司)、伏見稻荷神社の官司に就任(大11・5・6辞任)。稲荷年表		6・一 ㊤武田沢心、近松尊定に代わり真宗本願寺派管長事務取扱となる。官報
2・10 ㊤花園妙心寺山内靈雲院住職虎溪莞応、私立花園専修学院の設立認可願を文部省に提出。府庁文書 大6-53		7・6 ㊤真言宗山階派教会、宇治郡山科村上花山に花山支部を設立。府庁文書 大6-68
2・12 ㊤本能寺に谷晶が晋山。日出 2・13		7・10 ㊤日紫喜観定(真宗高田派三宝寺住職)、三宝寺説教所を舞鶴町に設立する許可をうける。府通牒 6社609
2・19 ㊤大3に特別保護建造物に指定された妙法院大台所(庫裡)を物置場に使用しないため、物置場を別に新設。府庁文書 大6-66		7・22 ㊤真宗本願寺派の日曜学校大会を六角会館で開催、市内生徒約500人が参加。 <sup>(1)</sup> 日出 7・23
2・27 ㊤真言宗連合大学を真言宗京都大学と改称。文部省告示24号		7・一 ㊤和田大圓、真言宗山階派管長に就任。官報
2・一 ㊤「大本神論」および「大正維新論」が、雑誌『神霊界』に発表される。大本事件史		8・一 ㊤上京区御前通下立売下ル延命寺で耶蘇教信徒(切支丹)墓碑3基が発見される。府史蹟勝地調査会報告1
3・3 ㊤私立真言宗連合京都中学を私立真言宗京都中学と改称。文部省告示30号		8・一 ㊤稗貫亮算、山城毘沙門堂住職に就任。天台宗報
3・6 ㊤船井郡摩気村の摩気神社、郷社から府社に昇格。日出 3・7		9・7 ㊤紀伊郡免囚保護会が婦人慈善会付属事業から分離し、同郡内各宗僧侶を同会保護委員として出獄人感化実施をきめる。日出 9・8
3・24 ㊤綴喜郡田辺町の光照寺の堂宇落成。府庁文書 大6-66		9・16 ㊤平安教会の新会堂、烏丸通三条上ルに建築起工(大7・3・10竣工、大7・10・10献堂式、大7・12・27新町の旧会堂敷地売却)。平安基督教会略史
3・26 ㊤宇治黄檗山万福寺に竜岡英蔵(新管長)が晋山。この月、同寺で隠元禪師250年忌を執行。宗教界		9・19 ㊤仏教各派・基督教・天理教などの日曜学校関係者、子供研究会を設立。日出 9・19
3・29 ㊤船井郡上和知村の日蓮宗実相寺、天田郡細見村へ移転。府庁文書 大7-61		9・27 ㊤松本文三郎・三浦周行・石川素童ら、洛北鷹ヶ峰源光院(曹洞院)所蔵の卍山道白禪師の遺跡遺物・書簡等の資料を調査するため、卍山会を結成。日出 10・31
3・一 ㊤近松尊定、真宗本願寺派管長事務取扱となる。		10・9 ㊤東福寺山内南明院焼失(同院は東福寺山内中特別の寺格を有し、維新以前まで同院住職は高位顯官の猶子をもってあてていた)。日出 10・11
4・9 ㊤臨済宗花園妙心寺派の花園婦人会設立される。日出 4・9、10		10・31 ㊤京都教会の学生会、ルーテル宗教改革400年祭を举行、会衆280人。京都基督教会50年史
4・13 ㊤京都教会の新会堂が竣工し献堂式を举行。この日、牧野博牧師の就任式も執行。京都基督教会50年史		11・1 ㊤河合日辰(寺之内新町の妙顕寺住職)、愛宕郡岩倉村字岩船に全竜教会所の設置を出願。府庁文書 大7-66
4・23 ㊤葛野郡花園村の私立臨済宗大学長に積宗演の後任として梅山玄秀が就任。		11・3 ㊤京都仏教護国団設立。日出 11・4、宗教界
4・30 ㊤高橋万次郎、護王神社官司に就任(大8・8・18辞任)。護王神社誌		11・10 ㊤聖公会の聖三一教会賜恩館で、伝道資金集めのため、バザーを開催、純益120円。聖公会京都地方部資料
4・一 ㊤加佐郡舞鶴町の布川恵順(同町妙法寺住職)、日蓮宗妙勝教会所の設立を願出る。府庁文書 大7-66		11・一 ㊤京都市内成願寺で耶蘇教徒墓石(慶長14・7・7の刻銘)発見される。府史蹟勝地調査会報告1
5・27 ㊤西尾幸太郎、平安教会牧師の職を辞し、組合教会専任理事に就任。平安基督教会略史		11・一 ㊤東福寺仏堂(庫裡・玄関・書院・竜淵堂・宝堂)起工。東福寺誌
6・3 ㊤臨済宗建仁寺派管長に竹田頼川が就任。官報 1328		
6・6 ㊤本門法華宗管長神原口祐就任。官報 1331		
6・28 ㊤与謝郡府中村の成相寺住職小野永照、真言宗高野派の高野山大師教会の畿地分教会(同郡市場村大字畿地)の設立を出願。府庁文書 大6-68		

参	考	日	本
(1)	真宗本願寺派日曜学校(市内): 仏教中央日曜学校(西六条油小路花屋町上ル)・竜谷日曜学校(西大谷)・安居院日曜学校(大宮頭安居院)・六角日曜学校(六角通烏丸東入ル会館)・起信日曜学校(新京極中之町平等講)・五条雑賀日曜学校(仏具屋町五条上ル説教所)・妙順寺日曜学校(五条建仁寺上ル)・華香日曜学校(柳原町)・伏見日曜学校(伏見深草)・西教寺日曜学校(竹田村)・久遠日曜学校(葛野郡西山別院)・嵐山日曜学校(嵯峨嵐山説教所)・北山日曜学校(愛宕郡一乗寺村北山別院)・岩倉日曜学校(愛宕郡岩倉村岩倉病院)	1・1	大本の機関誌『神霊界』創刊。
		1・5	織田得能『仏教大辞典』刊行。
		1・29	曜日蒼竜(本派本願寺のハワイ開教師)没。
		2・8	藤井日達、皇居前で7日間の唱題行を修める(日本山妙法寺の開教)。
		4・5	菅瀬芳英没。
		5・一	宇井伯寿、英訳『十句義論』を刊行。
		6・20	国民文庫刊行会、『国訳大蔵経』(〜大7・9・30 13巻)刊行。
		9・一	東京帝国大学に印度哲学講座開設(担当村上専精)。
		10・5	『新約聖書』(大正改訳)刊行。
		10・26	天理教独立10周年記念祭。
		10・31	東洋宣教会がホーリネス教会と改称。
		10・一	安田善次郎の寄付により、東京帝大文科に仏教講座を設立。
		12・一	『仏教大系』第1巻刊行。
		この年	
		▷	豊田毒湛(妙心寺住職)没(78歳)。
		▷	野生司香雪・荒井寛方、インドでアジャンタ窟院壁画を横写。
↗	12・6 ㊤南桑田郡千歳村の出雲神社の社務所落成奉告祭。日出 12・6		
	12・8 ㊤東京音楽学校のベッドフォード女史が聖公会婦人会の招きで来京、三条の基督教青年会館で音楽会を開催(入場者700人)。聖公会京都地方部資料		
	12・25 ㊤私立智山勸学院院長に宮本隆範に変わり武藤範秀の就任を出願。府庁文書 大6-53		
	12・一 ㊤洛東高台寺鐘樓が落慶(大2・2・20鐘樓焼失、工費4,271円余)。禅宗		
	12・一 ㊤天田郡下夜久野村字今西中の経塚で経筒が発見さる。府史蹟勝地調査会報告 2		
	12・一 ㊤綴喜郡の男山八幡宮を、石清水八幡宮と改称。日出 12・10		
	この年		
	▷ ㊤曹洞宗桂林寺(加佐郡)の三川啓明が、加佐郡余内村に吉原説教所を設立。		

京	都	府
1・27 ㊤私立花園学院の教授・学生が、同院学監鷺尾祖鳳の排斥をととなえ休校状態となる。 日出 2・2		5・13 ㊤布施好古、聖公会大阪川口教会から京都聖ヨハネ教会に転任。伏見新町11丁目348番地の居宅を、講義所とする(6・9日曜学校開設、生徒67人)。聖公会京都府支部資料
1・— ㊤船井郡のキリスト教須知会堂、所属会員が減少したため維持困難となり売却。 丹波基督教史		5・31 ㊤金光教、京都二条教会を設置。 金光教年表
2・16 ㊤山室軍平、京都教会学生会に招かれて講演(5・15には平安教会で講演、いずれも盛会)。京都基督教50年史、平安基督教略史		5・— ㊤山崎覚明、浄土宗西山派管長に就任、6・10関本諦承(壇林総持寺住職)も同派本山光明寺に晋山。府庁文書 大9-93
2・21 ㊤私立臨済宗大学(学長梅上玄秀)の主幹に、江西蓼洲が就任(鷺尾祖鳳の後任)。 府庁文書 大7-48		7・14 ㊤妙心寺前管長虎溪堯没。 日出 7・16
2・27 ㊤新義真言宗智積院新管長に大江存了が晋山。 日出 2・23		7・16 ㊤大谷瑩紹・田中泰輔ら、府慈善協会を創立、府下の感化救済ならびに免囚保護事業を統一改善し、団体相互の連絡をはかり、慈善思想を普及する目的で府庶務課内に事務所を設置。 日出 6・22、7・17
3・10 ㊤京都教会、組合教会計画の前進伝道を開始(～18日)。米国伝道教会派遣の伝道視察委員ペリー博士が講演。 熊本バンド研究、京都基督教50年史		7・21 ㊤河合日辰(上京区妙顕寺住職)・加藤啓貞ら、加佐郡余部町字余部に日蓮宗立正教会所を設立。 府庁文書 大8-60
3・11 ㊤京都市内キリスト教協同伝道を実施(～16日)。京都教会を事務所とし、中京で訪問伝道・路傍伝道を行なう。 京都基督教50年史		8・31 ㊤船井郡高原村の特別保護建造物大福光寺多宝塔修築(住職山本亮純、総工費6,237円)。 府庁文書 大7-64
3・11 ㊤黒谷金成光明寺法主兼清浄華院法主の吉水賢融(仏教各宗連合京都護国団長)没。 日出 3・12		9・1 ㊤藤井黙恵(梵語科)・鈴木弘(哲学科)・石村保三郎(英語科)、解職者に代わり私立真宗大谷大学教員に就任、 <sup>(1)</sup> 9・25大須賀秀道、 <sup>(2)</sup> 同大学宗・余乗教員に就任。 府庁文書 大7-48
3・15 ㊤東寺塔頭観智院本堂に真言有部律の戒壇を設け、同寺別当松永昇道を阿闍梨として東寺大学・同中学学生が授戒をうける(～17日)。 日出 3・16		9・7 ㊤北野神社で、シベリヤ出兵日本軍の戦時祈念祭挙行。京都連隊区司令部・16師団・各在郷軍人分会などが参列。 日出 9・6
3・22 ㊤滝善教、浄土宗西山派管長に就任。 官報 3・23		9・— ㊤京都正教女学校、関西正教女学校と改称し、兵庫県武庫郡良元村に移転(大10・3廃校、明35・2開校から廃校まで100人卒業)。 正教時報、正教女学校同窓会名簿
4・2 ㊤南禅寺高德庵の位牌堂・正門・隠寮など付属建造物を増築。同建物予算総額1万3,356円13銭のうち山本佐治郎が1万2,756円13銭を寄付(何鹿郡奥上林村から南禅寺へ移築した本堂は前年すでに竣工)。 府庁文書 大7-61		10・5 ㊤愛宕郡大原村の勝林院境内法華堂敷地が御陵地となったため、同堂を取りこわして宮内省が同敷地を買収。 府庁文書 大7-61
4・23 ㊤私立臨済宗大学長に池上真澄が就任(梅上玄秀の後任)。 府庁文書 大7-48		10・10 ㊤平安教会新会堂の献堂式挙行(11～13日まで落成記念講演会開催、海老名弾正・横山四十八・宮川経輝等講演)。 日出 10・11、13
4・— ㊤西本願寺、仏教内典の研究会を開催。会員は帝国大学・私立大学卒業者に限る。若干名に西本願寺から手当を支給し、仏教大学講師指導のもとに2カ年間研究する。 日出 3・17		10・15 ㊤天田郡雀部村の高林寺(曹洞宗)を同郡曾我井村に移築(兼任水野道秀は福知山町久昌寺の住職で、移転地に人家が激増するが、 <sup>(3)</sup> 同宗派寺院がなく、民心の誘導啓発のため移転)。 府庁文書 大9-69
5・5 ㊤泉涌寺山内即成院法安寺の二十五菩薩来迎会再興5周年の記念法要執行。同時に同寺の木像二十五菩薩(国宝)を公開。 日出 5・3		10・20 ㊤京都基督教青年会宗教部主催のキリスト教学生大演説会を青年会館で開催。演題は木津一葉の「自殺行為」、田中総一郎の「民衆の一人として」、田畑忍の「現代の危機と青年の覚悟」等。 日出 10・18
5・7 ㊤黄檗宗管長竜岡英蔵、前年春の宗祖大遠忌厳修後に、経費支出などで紛擾したため、同管長職を辞す。隆琦大雄、管長事務取扱となり、8月管長に就任。 日出 5・1、官報 5・8		10・31 ㊤深浦春子なる信徒、西国三十三カ所観音霊験記を刺繍、絹布に押絵で作成し、京都市内西陣京極停留所前の大超寺で展覧会を開催(～11・15)、のちこれを各地霊場へ奉献する。 日出 11・1
5・9 ㊤宇治郡醍醐村大字日野の西本願寺の境外阿弥陀堂と同所に宝物堂を新築することに決定。その寄付金4,001円47銭は神戸市矢頭喜三郎ら37人が負担(日野の阿弥陀堂は、明14・5・27に日野法界寺から西本願寺へ寄付したもの)。 府庁文書 大7-61		

参	考	日	本
(1) 真宗大谷大学教員解職者：8・31榊亮三郎(梵語学)・赤松智城(宗教学)・錦田義富(哲学)・石川了整(宗・余乗)を解職。		1・6	内村鑑三、基督教青年会館で「聖書の予言的研究」講演会を開催、再臨運動を展開。
(2) 大須賀秀道：明34・10に私立真宗中学仏教科教員に就任以後、大7・7まで奉職。		2・—	天理教分派(茨木事件)。
(3) 天田郡曾我井村の人口増加：10年以前では家屋90戸・人口400余人、現在は家屋350～400戸・人口1,700余人に達する。		3・—	神道宣揚会『神道』刊行。
(4) 原真乗：明43・7に京都帝大文科大学印度哲学科を卒業し、さらに同大学大学院で榊亮三郎教授につき論題「古代印度哲学と文学」を研究。大5・9以来、寺本婉雅から西藏語を聴講、その間に私立般若林・花園学院・臨済宗大学と仏教関係の諸校で梵語学を教授、大7・2に臨済宗大学と花園学院講師を辞す。 府庁文書 大7-48		4・30	東京女子大学(キリスト教系私立専門学校)開校(学長新渡戸稲造)。
		4・—	木村泰賢の『印度六派哲学』に恩賜賞。
		10・25	天理青年会設立(大8・1・27発会式)。
		10・—	聖公会のウッド博士来日。
		11・6	出口なお(大本教開祖)没(83歳)。
		12・16	大内青巒没(74歳)。
		この年	
		▷	倉田百三の「出家とその弟子」、有楽座で初演。
		▷	単科大学令発布により宗門大学の単科大学昇格問題おこる。
↗ 10・— ㊤渡辺荘、京都帝大文科大学に基督教講座設置を希望して5万円を寄付。 日出 10・19		11・9	㊤光照院門跡常盤御所(院主広橋聖海尼)を焼失。 日出 11・12
		11・11	㊤天田郡三岳村に蓮秀寺住職山本湛澄、日蓮宗登尾教会所を設立。 府庁文書 大8-60
		11・11	㊤原真乗、 <sup>(4)</sup> 私立智山勸学院の梵語学を担当。 府庁文書 大7-48
		11・14	㊤嵯峨清涼寺釈迦堂が大破したため修築竣工(4月中旬に1万3,000円の寄付金で起工、とくに嵯峨村の有力者小林吉明らが尽力)。 日出 11・15
		11・14	㊤紀伊郡竹田村の安楽寿院本堂、鳥羽天皇陵と近衛天皇陵の陵域を拡張するため、北方へ移転することに決定。 日出 11・16
		11・16	㊤護王神社、本殿・付属建造物の修繕完了、正遷宮式を挙行。 日出 11・17
		12・7	㊤大谷大学尋源会と仏教大学(現電谷大学)壬寅会の連合講演会を岡崎公会堂で開催(大谷大学の松山亮・橋川正(以上学生)、森川智徳・金子大栄(以上教授)、仏教大学の津木鉄城・宮島了俊・山名哲朗等が講演)。 日出 12・8
		12・29	㊤京都市内浄土宗の一条組・大宮組・京極組の各寺院慈善団、慈善袋を募集し細民に約20石余を施与。 日出 12・29





京	都	府
1・10 ㊤京都復活教会、会堂建設を計画。地価暴騰家屋払底のため候補地決定できず、今出川大宮西入ルの復活裁縫学校に同居（3・17智恵光院今出川上ルに移転、12・24大宮通寺之内上ル5丁目若宮町80番地に用地購入して移転）。 聖公会京都地方部資料	5・2 ㊤真宗大谷派橋川恵順没。	5・11 ㊤伏見の3教会（メソジスト・組合教会・聖公会）合同で、映画会を開催。「小公子」を上映し、収益を世界日曜学校大会に寄付。 聖公会京都地方部資料
1・11 ㊤京都市内組合教会連合礼拝を京都教会で実施（英語礼拝も開始）。京都基督教会50年史	5・15 ㊤伏見稲荷神社が山上神蹟の三ノ峰修繕を完了、竣工式挙行。 稲荷年表	5・22 ㊤嵯峨宝篋院（住職山崎益洲）の再興堂宇竣工。 <sup>(5)</sup>
1・18 ㊤組合教会京都部会主催の宗教教育講習会を平安教会で開催（講師小泉澄・横川四十八・賀川豊彦）。 平安基督教会略史	5・29 ㊤曹洞宗宗祖道元の誕生地乙訓郡久我村に記念道場として、福井県王子保村の妙覚寺を移築、誕生山妙覚寺 <sup>(6)</sup> と改称。 日出 5・22、30、府庁文書 大10-83	6・2 ㊤左京区新高倉通孫橋上ル本門宗要法寺に要法寺教学財団を設立。 仏教年鑑 昭6
1・18 ㊤丹波教会、会員減少のため本梅を独立させ、須知を園部に合併させる。 丹波基督教会史	6・2 ㊤左京区新高倉通孫橋上ル本門宗要法寺に要法寺教学財団を設立。 仏教年鑑 昭6	6・25 ㊤仏教専門学校長に郁芳随園、土川善激の後任として就任。 府庁文書 大9-43
2・2 ㊤京都市の都市計画案によって市内名勝史蹟を破壊することに反対する市民大会を開催（同案で寺院境内地が削減される例多く、百万遍知恩寺・高山寺・宝鏡寺など）。 日出 1・29、2・3、3・11	6・1 ㊤竹崎八十雄（札幌独立教会牧師）、同志社教会宗教主任に就任。 同志社教会史	7・2 ㊤京都教会同信館に英語夜学校設立（教師は日本人3人・外人2人。70人の青年男女が入学を申込む）。 京都基督教会50年史
2・13 ㊤京都市内散在の念仏講460講が花山会を結成し岡崎公会堂で初会開催。 日出 2・14	7・2 ㊤京都教会同信館に英語夜学校設立（教師は日本人3人・外人2人。70人の青年男女が入学を申込む）。 京都基督教会50年史	7・3 ㊤京都復活教会内に、西陣英語夜学校設立（主任中山時雄）。 聖公会京都地方部資料
2・20 ㊤真宗本願寺派の慈善財団社会事業研究所（東京築地別院内）の出身者が京都を中心に労働・児童・救貧・疾病救済・防寒・教化・婦人の諸分野で活躍すべく、宣言書を撒く。 日出 2・19	7・3 ㊤京都復活教会内に、西陣英語夜学校設立（主任中山時雄）。 聖公会京都地方部資料	8・5 ㊤『大本神諭火之巻』発禁。 大本事件史
3・9 ㊤磯部寛間 <sup>(1)</sup> 申請の私立西山専門学校設立認可（3・9開校祝賀式挙行、4・1開校、校長三浦貫道）。 文部省告示103号、府庁文書 大9-43、日出 5・20	8・14 ㊤皇道大本、『大正日日新聞』を買収（9・25復刊第1号発行、大11・7・15発行中止）。 同上	8・14 ㊤皇道大本、『大正日日新聞』を買収（9・25復刊第1号発行、大11・7・15発行中止）。 同上
3・17 ㊤深谷徳郎、天理教河原町大教会第4代会長に就任。 河原町大教会史	9・14 ㊤東山五条の歡喜光寺（住職河野良心）石垣新設決定。 府連牒 社 1383	9・14 ㊤東山五条の歡喜光寺（住職河野良心）石垣新設決定。 府連牒 社 1383
3・17 ㊤浄土宗尼衆学校、知恩院山内に落成。 知恩院史	9・26 ㊤西山粟生光明寺財団理事長に神納賢充、磯部寛間にかわり就任。 府庁文書 大9-43	9・26 ㊤西山粟生光明寺財団理事長に神納賢充、磯部寛間にかわり就任。 府庁文書 大9-43
3・22 ㊤村雲日榮没。 日出 3・23	9・1 ㊤西本願寺北山別院落成。 教界一瀾	9・1 ㊤西本願寺北山別院落成。 教界一瀾
3・31 ㊤武田沢心 <sup>(2)</sup> 申請の京都女子高等専門学校と同校維持財団設立認可（4・1開校、校長弓波瑞明）。 <sup>(3)</sup> 文部省告示183号、府庁文書 大9-43	10・1 ㊤第36回日本組合教会総会を平安教会で開催。 平安基督教会略史	10・1 ㊤第36回日本組合教会総会を平安教会で開催。 平安基督教会略史
3・1 ㊤京都各宗花祭連盟結成。 中外	10・18 ㊤青蓮院門跡三津玄深没（82歳）。 日出 11・29	10・18 ㊤青蓮院門跡三津玄深没（82歳）。 日出 11・29
4・1 ㊤海老名弾正、同志社大学総長に就任（5・6同志社教会名誉牧師に就任）。 同志社教会史、同志社90年小史	10・1 ㊤浦上隆応、真言宗御室派管長に就任。 日出 11・29	10・1 ㊤浦上隆応、真言宗御室派管長に就任。 日出 11・29
4・15 ㊤同志社大学、大学令により設立認可（大学予科・学部・大学院。学部は法学・文学の2学部。同志社女子専門学校卒業生の大学入学を許可）。 同志社90年小史、文部省告示270号	11・1 ㊤明治神宮鎮座祭のため、伏見稲荷神社に遙拝所を設置（遙拝者1,200人を越す）。 稲荷年表	11・1 ㊤明治神宮鎮座祭のため、伏見稲荷神社に遙拝所を設置（遙拝者1,200人を越す）。 稲荷年表
4・20 ㊤智山勸学院長に旭純栄 <sup>(4)</sup> が武藤範秀の後任として就任。ついで5・1高神寛昇が宗乗余乗教員を担当。 文部省 大9-京専28、府庁文書 大9-43	11・4 ㊤智山勸学院講堂兼教室を増築(12・2研究科・専修科を増設、学則改定）。 府庁文書 大9-京専59、73	11・4 ㊤智山勸学院講堂兼教室を増築(12・2研究科・専修科を増設、学則改定）。 府庁文書 大9-京専59、73
	11・7 ㊤東寺大師堂（特別保護建造物）修築（9月に竣工したがこの日大師像を遷座）。 日出 11・8	11・7 ㊤東寺大師堂（特別保護建造物）修築（9月に竣工したがこの日大師像を遷座）。 日出 11・8
	11・8 ㊤青井俊法、浄土宗西山禅林寺派管長に就任認可される。 官報 11・9	11・8 ㊤青井俊法、浄土宗西山禅林寺派管長に就任認可される。 官報 11・9

参	考	日	本
(1) 磯部寛間：明18・3・15下京区東九条御霊の長福寺に晋山、明41・1・20愛知県知多郡正伝院住職に就任、大8・7・15西山光明寺派執事長、同9・16光明寺財団理事となる。	(2) 武田沢心：西本願寺住職事務取扱、京都女子専門学校維持財団設立者。	1・1 、『世界聖典全集』刊行開始。	
(2) 武田沢心：西本願寺住職事務取扱、京都女子専門学校維持財団設立者。	(3) 弓波瑞明：明31・7真宗本願寺派大教校を出る。明43・10同派司教、明44・9仏教大学監事長兼講師。	2・16 天理教々々会本部(財)設立認可。	
(3) 弓波瑞明：明31・7真宗本願寺派大教校を出る。明43・10同派司教、明44・9仏教大学監事長兼講師。	(4) 旭純栄：明25・3・3福島県石城郡赤井村の常福寺住職に就任、大7・2・20新義真言宗智山派宗務長、同5・7同派教学財団理事長に就任。	3・1 漢国に西本願寺教会所設立。	
(4) 旭純栄：明25・3・3福島県石城郡赤井村の常福寺住職に就任、大7・2・20新義真言宗智山派宗務長、同5・7同派教学財団理事長に就任。	(5) 嵯峨宝篋院再興：明治初年に同院廃寺、明13に神戸市川崎芳太郎が同院復興のため建物を寄付、明14に京都府知事北垣国道が同志と記念碑を建立、明37に同院再興の目的で同院土地の払下げを受ける。大3・9・25同院再興出願、大12・12・11天竜寺住職高木台岳が同院再興後に同院旧跡山林4反3畝24歩の寄付を上申、小林吉明・小松美一郎等信徒116人と京都保勝会が再興費2万6,521円余を募財。 府庁文書 大9-69	4・3 輪島聞声（淑徳女学校創立者）没（67歳）。	
(5) 嵯峨宝篋院再興：明治初年に同院廃寺、明13に神戸市川崎芳太郎が同院復興のため建物を寄付、明14に京都府知事北垣国道が同志と記念碑を建立、明37に同院再興の目的で同院土地の払下げを受ける。大3・9・25同院再興出願、大12・12・11天竜寺住職高木台岳が同院再興後に同院旧跡山林4反3畝24歩の寄付を上申、小林吉明・小松美一郎等信徒116人と京都保勝会が再興費2万6,521円余を募財。 府庁文書 大9-69	(6) 誕生山妙覚寺：大8・3・17移築決定、住職丘潭、信徒総代辻楨次郎・辻筆次郎・芳山亀吉。	4・7 聖公会第13回総会神戸で開催（～10日）、東北地方部を北東京地方部から分割。	
(6) 誕生山妙覚寺：大8・3・17移築決定、住職丘潭、信徒総代辻楨次郎・辻筆次郎・芳山亀吉。		4・1 落合吉之助、聖公会神学院長に就任。	
		5・1 ニャーナチロカ（ドイツ人）来日、東京宗教学会などで教鞭をとる。	
		8・5 内務省、大本教取締を全国に指令。	
		9・2 日置黙仙（曹洞宗管長）没（74歳）。	
		9・17 東京帝大文学部に神道講座設置（田中義能担当）。	
		9・24 真宗大谷派の常盤大定（東大講師）、第1回中国仏教史跡踏査に出発（～大10・1・5）。	
		9・1 東京聖公会特別運動開始、東京教区設置運動に進展。	
		10・5 第8回世界日曜学校大会、東京で開催（～14日。30余カ国から代員出席）。	
		11・1 明治神宮竣工鎮座祭。	
		11・25 波多野精一、『宗教哲学の本質及其根本問題』刊行。	
		この年	
		▷ 島地黙雷・高島米峰ら、僧侶参政権差別撤廃期成同盟会を開催。大日本仏教青年会もこれに協力。	
		▷ 衛藤介（明治教開祖）、明治天皇御製普及会を創立。	
		▷ 賀川豊彦『死線を越えて』刊行。	
11・20 ㊤佐々木二郎、京都聖三一教会牧師に就任。 聖公会京都地方部資料	11・30 ㊤六角堂頂法寺（六角東洞院）住職池坊専啓、同寺境内に藤井美豊の寄付する見真大師（親鸞）銅像の建立を決定。 内務省 大9-京警280		
	12・20 ㊤浄土宗総本山知恩院に宗祖法然開宗750年記念の財団法人本末共済会を設立。 仏教年鑑 昭6		

京	都	府
1・10 ㊦平沼検事総長、大本弾圧を指令(2・12出口王仁三郎・浅野和三郎・吉田祐定を検挙、6・28開祖奥都城を強制改築、8・28綾部天王平の雅姫神社社殿を強制焼却、10・20本官山神殿を強制破却)。 大本事件史、日出 5・11	野田義成等6人と幹事塩田綾子等23人を選出。 日出 6・19	
1・10 ㊧天田郡雀部村字前田の東本願寺所属相統講教会所 <sup>(1)</sup> を説教場と改称。 府庁文書 大10-53	6・21 ㊨臨済宗大学長に加藤至道 <sup>(4)</sup> が就任。 文部省 大10-京専45、府庁文書 大10-42	
1・19 ㊩浄土宗西山禪林寺派経営の聖峰中学、文官任用令により中学校と同等以上と認定される(22日、専門学校入学者検定規程により同卒業者を中学校卒業者と同等以上の指定をうける)。 文部省告示14号、25号	6・28 ㊪上京区千本通一条上ル大超寺塔頭覚寿院を神戸市西須磨に移築 <sup>(5)</sup> (住職関浦恒、信徒数600人)。 府庁文書 大10-83	
1・23 ㊫京都仏教護国団主催の関西仏教徒大会を岡崎公会堂で開催。東本願寺寺務総長阿部恵水が座長に推選され、僧侶の被選挙権獲得についての宣言書と決議文を朗読。 日出 1・24、中外	7・4 ㊬平野亮禪が真言宗醍醐派(本山醍醐寺)管長の就任を認可される。 官報 7・6	
1・一 ㊭知恩寺本末共済会設立。 中外	7・5 ㊮全国工業博覧会が岡崎公園で開催され、府下の各宗97カ寺の所蔵する宝物什器約1,200点を仏教各宗連合会の賛同で出品(〜9・6)。 日出 7・5	
1・一 ㊮西本願寺、英訳真宗綱領を刊行。 同上	7・17 ㊯和気講社を護王神社奉養会と合併し、和気公奉養会と改称。 護王神社誌	
2・5 ㊰上京区七本松通五辻上ル大報恩寺(千本釈迦堂)内に恩賜財団済生会診療所(西陣診療所)を設立。 告示82号、日出 2・5	7・一 ㊱茂須磨(神戸女子神学校生)、船井郡氷所の少年少女のために、毎週火曜日少年学校を開設(〜8月、30〜80人の子どもが集まる)。 丹波基督教会史	
2・12 第1次大本事件(不敬罪・新聞紙法違反で幹部一せい検挙)。 大本事件史、日出 5・11	7・一 ㊲佐々木月樵(真宗大学教授)、欧州諸国および米国へ教育と宗教を視察するため漫遊。 府庁文書 大12-31、宗報	
2・28 ㊲重松寛勝、真言宗小野派(本山山科勧修寺)管長の就任認可される。 官報 3・2	8・25 ㊳金光教、京都深草教会を設立。 金光教年表	
3・19 ㊳日蓮上人誕生700年を記念し、明徳学園および大本山本圀寺により、明徳高等女学校ならびに裁縫女学校を設立(下京区猪熊通五条下ル)。 京都学校案内	9・16 ㊴第1次大本事件第1審公判、京都地方裁判所で開廷(10・5判決、不敬罪・新聞紙法違反で有罪、即日控訴)。 大本事件史、日出 9・16	
3・22 ㊴大谷尊由、真宗本願寺派管長事務取扱に就任認可される。 官報 3・24	10・13 ㊵蛸薬師堀川の極楽院空也堂光勝寺で空也(開基)950年忌法会を執行。住職葛原定慶は信徒小森猷次・梅原正七・村田源助・郷原龜次郎等にはかり同法会を機として本堂改築に着手(大10・7・25宮内省、香華料として200円を下付)。 府庁文書 大10-83	
3・26 ㊵仏教大学長に鈴木法深が就任(藪田宗恵の後任)。 文部省 大10-京専45、府庁文書 大10-42	10・14 ㊶皇道大本、大本教と改称。 大本70年史	
3・31 ㊶黒谷の金戒光明寺蓮華蔵(納骨堂)の移築決定。 <sup>(2)</sup> 府庁文書 大10-51	10・18 ㊷鞍馬寺本堂の修築・護摩堂の再建を決定(9・23住職信楽真澄は信徒杉本喜右衛門・三宅徳松・杉本信三郎等とともに再建願を提出)。 府庁文書 大12-40	
4・1 ㊷三木清、大谷大学で論理学を担当。	10・18 ㊸出口王仁三郎、『靈界物語』の口述開始。 大本70年史	
4・10 ㊸平野神社、臨時祭を復興。 京都神社誌	11・14 ㊹知恩院富松教会所(下京区富小路通松原下ル、明9・9設立)を浄土宗富松教会所と改称。 府庁文書 大10-53	
4・14 ㊹紀伊郡石峰寺(黄檗宗)本堂(桁6間半・梁5間半)を再建。 <sup>(3)</sup> 府庁文書 大10-51	12・22 ㊺知恩院塔頭真葛庵を桜木竜端(不老谷浄土宗教会主任)の発起で福岡県八幡市大字尾倉字不老谷へ移転。 府庁文書 大11-48	
5・21 ㊺天理教校別科生60人、京都市内で路傍講演実施(〜22日)、西陣分教会・平安西支教会のブラスバンドも応援(11・19〜20にも実施)。 河原町大教会史	12・一 ㊻京都市内寺院15カ寺の境内地を空地の広狭と環境によって児童公園に収用するため調査。 日出 10-2	
5・一 ㊻大谷大学内の東方仏教協会、『東方仏教徒』(英文雑誌)を創刊。 中外	12・一 ㊼一乗寺詩仙堂石川瑞達尼は富岡鉄斎らと石川丈山250回忌にあたり堂宇庭園修築に着手。 日出 12・8	
6・18 ㊼仏教女子青年会設立、第1回講演会で成瀬無極が「文芸と宗教」を講演、同会理事に		

参	考	日	本
(1) 雀部村相統講教会所：明30・1に創建、六人部村字長田の法林寺住職高橋智水が担任教師、信徒数201人。		1・11	内務省神社局『国体論史』刊行。
(2) 金戒光明寺蓮華蔵移築：住職大鹿愍成・総代中田彦三郎・遠藤弥三郎・伊知寺光明、総工費44万9,521円84銭で着手。		2・1	松尾敬吾(熊本バンド)没(62歳)。
(3) 石峰寺本堂再建：住職阪田拙門、檀信徒石岡幸次郎・石田喜助・河内長右衛門等の寄付金で着手。		2・6	仏教連合会、僧侶被選挙権獲得のため仏教徒大会を芝増上寺で開催。
(4) 加藤至道：明30・11愛媛県周桑郡小松町の仏心寺(妙心寺末寺)住職となる。		3・9	蘆津実全没。
(5) 大超寺塔頭移転：この頃、第一次世界大戦の影響などで諸工業が勃興したため工業都市へ移住する者が増加、覚寿院檀信徒も神戸市に移住する者が多く、遠距離の巡教が不便であったが、神戸市在住者角田俊徹らの尽力で移築。		3・23	倉田百三『愛と認識の出発』刊行。
		4・一	法隆寺で聖徳太子300年忌。
		4・一	堀尾貫務没。
		5・一	辻善之助、『日本仏教史の研究』により帝国学士院奨励賞を受ける。
		7・5	西田天香、『懺悔の生活』刊行。
		7・一	太虚・武昌に仏学院を設立。
		9・一	仙台聖公会自給可能となる。
		10・6	日本組合基督教会総会、東京で開催、アメリカン=ボードとの伝道事業の合同および朝鮮伝道の独立などを決定。
			この年
		▷	倉田百三、『布施太子の入山』刊行。
		▷	高木久沙弥、『戯曲大無量寿経の血』刊行。
		▷	渡辺霞亭、『弘法大師』刊行。

京	都	府
1・18 ㊤山下現有が知恩院塔頭真葛庵跡(大10・11八幡市へ移転)に茶寮建立決定、総代内貴甚三郎・遠藤九右衛門等の協力による。 府庁文書 大11-49		6・20 ㊤金光教祖40年祭記念布教講師講習会を京都で開催(～25日)。 金光教年表
1・一 ㊤京都市社会課、前年から寺院境内地の開放を計画し、大野同課長らが第1期調査として相国寺・建仁寺・立本寺・東寺・頂妙寺・妙覚寺・壬生寺・浄福寺・釈迦堂・大仏方広寺と交渉を開始。 日出 1・25		6・21 ㊤第1次大本事件第2審公判、大阪控訴院で開廷(大13・7・21判決、不敬罪・新聞紙法違反で有罪、即日上告)。 大本事件史
2・4 ㊤大本修齋会、大本瑞祥会と改称。 大本70年史		6・28 ㊤東本願寺大谷光演、同寺境内の北西に総工費約50万円で庫裡建立を決定。 府庁文書 大12-60
2・8 ㊤紫野大徳寺境内のもと看松庵跡地、2,656坪が紫野中学運動場となる。 府庁文書 大11-49		7・25 ㊤前田聰瑞、 <sup>(9)</sup> 華頂高等女学校および華頂実科女学校長に就任。 府庁文書 大11-59
3・22 ㊤綾部で開かれる組合教会の京都部会を機に、亀岡・八木・園部で講演会を開催、講師は辻忠良・広瀬常吉・武田猪平・今井新太郎・榎本修。 丹波基督教会史		7・26 ㊤日蓮宗妙円寺大黒天絵馬堂および客殿の新築決定。大13甲子太歳に大黒天開帳を行なうため、甲子講員5,000余人から1万9,517円余を募財 <sup>(4)</sup> (住職上田尚温)。 府庁文書 大12-40
3・25 ㊤洛東東福寺境内 <sup>(1)</sup> 1,786坪を市営住宅建設敷地に転用することに決定。 日出 3・26		7・27 ㊤下京区柳町の正往寺(真宗)境内を植柳尋常小学校敷地に譲渡し、裏町移転に決定(住職苗村幹隆)。 府庁文書 大12-37
3・一 ㊤池沢駿太郎、聖ヨハネ教会牧師を辞任、名出武が後任に任命される(これを機に、同教会は経済的自立の方針を打ち出す)。 聖公会京都地方部資料		7・一 ㊤大仏方広寺・川端二条頂妙寺・新町頭妙覚寺・七本松中立立本寺諸寺の境内地を京都市社会課計画の児童遊園地に開放することに決定(市内10カ寺開放を目標に、仏教連合団も市社会課に協力)。 日出 7・9
4・12 ㊤東寺1100年記念法要を鎌田観応(管長)主宰で奉修(大8・2宮内省は同法要に3,000円を下付、大11・2各宮殿下も500円を寄付)。記念事業として国宝指定物・宝塔伽藍修築、 <sup>(2)</sup> 霊宝館・布教会館新築、教王護国寺(東寺)1100年史編さん等を計画。 府庁文書 大11-48		7・一 ㊤浄土宗総本山知恩院、専門道場を建立。 浄土宗報
5・3 ㊤今井清彦(伊勢神宮少宮司)、伏見稲荷神社宮司に就任。7・12京都府社寺課主任佐々木才太郎、同社禰宜に就任。 稲荷年表、稲荷祠官補任表		8・4 ㊤仏教専門学校長に桑田寛随、郁芳随円辞職の後任として就任決定。府庁文書 大11-39
5・6 ㊤福知山連隊区管内各郡連合招魂祭を福知山市御霊公園隣地で挙行。 日出 5・8		8・25 ㊤富小路通五条下ル延寿寺(浄土宗)の楼門・本堂・庫裡を住職相原是博等が4万91,93円余で改築決定(総代山崎孝助・高橋善七ほか)。 府庁文書 大12-40
5・13 ㊤洛東南禅寺山内金地院東照宮社殿を修築することに決定。清水道源(住職)・並河靖之・高田吉郎(総代)等により総工費4,108円52銭の予定。 府庁文書 大11-49		9・12 ㊤西本願寺飛雲閣・本堂・大師堂改修決定。 府庁文書 大11-49
5・下 ㊤北野神社大鳥居竣工(高さ37尺6寸・巾48尺4寸・柱直径3尺1寸)。 日出 5・11		9・18 ㊤鷹ヶ峰常照寺境内2,466坪を、白川学園(百万遍知恩寺山内)異常児保護教育のため使用することに決定(9・1住職山家惠潤、承諾)。 同上
5・一 ㊤真宗大谷派の高倉会館落成。		9・23 ㊤大谷瑩誠ら、俱一会設立。この会は病院・官公衙取扱い死者・行路病死者の追弔法要、遺族慰安訪問を目的とする。 日出 9・24
5・20 ㊤竜谷大学(仏教大学を改称)・大谷大学、大学令で設立認可。文部省告示430号、431号		9・一 ㊤関清拙、臨済宗天竜寺派管長に就任、天竜寺に晋山。 中外
6・10 ㊤大学令認可の大谷大学長に南条文雄が決定。6・13に同じく竜谷大学長に鈴木法深が決定。 府庁文書 大11-39		10・14 ㊤真宗京都中学校長に谷内正順、 <sup>(5)</sup> 近藤純悟辞職の後任として就任。府庁文書 大11-39
6・15 ㊤宇治宝蔵院(黄檗宗)本堂と庫裡が住職波利不説等の尽力により総工費1万2,398円14銭で改築落成。 府庁文書 大11-49		10・20 ㊤紫野大徳寺菩提講、同寺国宝観音像を東京渋谷の祥雲寺で出開帳決定。 府庁文書 大11-48

参	考	日	本
(1) 6・1	には東福寺境内195坪が下京区第31学区三の橋尋常小学校敷地に決定。府庁文書 大11-49	4・16	木村泰賢『原始仏教思想論』刊行。
(2) 東寺勅使門修築：大10・春着工、この年11・9に竣工。 日出 11・11		5・13	天理教校職員、六踏会を組織。
(3) 前田聰瑞：大3・7京都帝大文科大学卒業、大3・9真言宗高野山大学教授に就任、大4・3・20大阪府枚方町台鏡寺住職となり、大9・4真言宗京都大学教授となった。		5・25	専修大学・立教大学の設立認可。
(4) 妙円寺甲子記念建物：大黒天絵馬堂桁4間半・梁2間半、舞台桁6間・梁4間余(総工費8,260円余)、客殿桁7間・梁4間7分(総工費1万1千円余)。		5・29	ヘーズレット、聖公会南東京地方部主教に就任。
(5) 谷内正順：明44・7・11東京帝国大学文科大学倫理科卒業、恩賜銀時計を拝受。大3・6・11石川県羽咋郡河合谷村慶恵寺住職となる。		6・1	賀川豊彦、大阪市北区安治川教会に大阪労働学校を開設。
(6) 広隆寺国宝：紙本着色能恵法師絵詞1巻、紙本墨書広隆寺縁起資財帳1巻、紙本墨書資財交替実録帳1巻、木造毘沙門天像1体、木造如意輪観音半跏像1体、木造如意輪観音半跏像1体、絹本着色十二天像12幅、絹本着色准胝仏母像1体。		7・24	根橋梅太郎(智覚山民主教団開祖)没。
		10・13	日蓮に立正大師の諡号宣下。
		11・10	伊藤証信『無我愛の真理』刊行。
		11・一	『大日本仏教全書』(151巻)完結。
		12・一	木村泰賢『阿毘達磨論』刊行。
		12・一	ローマ法王庁へ日本からの公使派遣につき仏教徒が反対運動をおこす。
		この年	
		▷	大谷光瑞、上海で『見真大師』を著わし、真宗教団を浄土偽宗であると批判。
		▷	石丸梧平・村上浪六・江原小弥太・山中峰太郎ら、親鸞を主題とする文学作品を発表。
		▷	友松円諦、『地に悩める釈迦』(戯曲)を発表。
		▷	米国ナザレン派キリスト教会、日本部会を組織。
		▷	ゼ=エバンゼリカル=アライアンス=ミッション、日本同盟基督協会を設立。
		▷	僧侶の被選挙権問題おこる。
		▷	寺禄・年金、明9以降はじめて改正される。
10・26 ㊤愛宕郡鷹峰村の日蓮宗光悦寺に光悦会(財)を設立。 仏教年鑑 昭6		10・一	㊤東福寺三聖病院設立。 中外
10・一 ㊤東福寺三聖病院設立。 中外		11・26	㊤東寺宝菩提院境内に、府社会施設の託児所竣工。 日出 11-27
11・26 ㊤東寺宝菩提院境内に、府社会施設の託児所竣工。 日出 11-27		12・6	㊤太秦広隆寺国宝、 <sup>(6)</sup> 同寺宝物館に陳列のため京都と東京の両帝室博物館出陳を解除される。同宝物館は聖徳太子1300年忌記念事業で建立。 府庁文書 大11-48
12・6 ㊤太秦広隆寺国宝、 <sup>(6)</sup> 同寺宝物館に陳列のため京都と東京の両帝室博物館出陳を解除される。同宝物館は聖徳太子1300年忌記念事業で建立。 府庁文書 大11-48		12・26	㊤南禅寺河野霧海、煩悶者を収容し精神修養を行なう施設を、総工費2万2千円余で設立決定。 府庁文書 大11-49
12・26 ㊤南禅寺河野霧海、煩悶者を収容し精神修養を行なう施設を、総工費2万2千円余で設立決定。 府庁文書 大11-49		12・一	㊤寺町石薬師本禅寺(住職金子日鳳)保存財団設立。資本金15万円は同寺所有地売却の収益金、御下賜金の利殖および万人講収入等による。 同上
12・一 ㊤寺町石薬師本禅寺(住職金子日鳳)保存財団設立。資本金15万円は同寺所有地売却の収益金、御下賜金の利殖および万人講収入等による。 同上		12・一	㊤粟田口三条尊勝院を青蓮院境内に移築落成。 府庁文書 大12-37
12・一 ㊤京都復活教会、教会専用墓地76坪を購入。 聖公会京都地方部資料			

京	都	府
1・19 ㊤加佐郡神崎村の地運寺(曹洞宗)、中舞鶴へ移転決定、中舞鶴へ多数移住する信徒の要請で同寺住職柳田視覚が着手。 府庁文書 大12-37	4・12 ㊤大山崎観音寺(俗称山崎聖天)の庫裡客殿増築(同寺住職摩尼宝洲、年々増加する信徒を收容するため寄付金80,850円と住職出資15,000円で着工)。 府庁文書 大12-40	
1・一 ㊤聖ヨハネ教会(聖公会)では、教会自給自立のため、牧師の俸給を委員会で検討し、毎月の収入のうち教会経常費の残部をこれにあてることに決定。 聖公会京都地方部資料	4・15 ㊤西本願寺立願道学校同窓生、願道会館設立。 中外 4・12	
1・一 ㊤金森通倫、同志社教会で2週間の特別伝道を行なう。約300人の受洗志願者が出る。 熊本バンド研究	4・15 ㊤天竜寺日曜学校設立(同寺塔頭慈濟院で開園式挙、天竜寺境内を同校に開放)。 中外 4・10	
2・1 ㊤仏教連合会・仏教護国団・東西両本願寺連合で、政府のローマ法王庁使節派遣に反対する仏教徒大会開催、阿部恵水が決議文朗読。 日出 2・2	4・23 ㊤鳥丸今出川上ルの宣教師ロンバート家に、在日朝鮮人基督教代表と京都市内の基督教役者とが集会(この頃、朝鮮人労働者の問題が社会化しつつあり、外人宣教師の個人宅で持たれた集会が政治的意味をもたないか心配される)。 中外 4・22	
2・10 ㊤聖三一教会(聖公会)に男子会が組織され、「ちしほ会」と名づけられる。幹事は園部秀治・引野通夫・安田良らで、講演会・親睦会を開く(3年ほど続けたのち解散)。 聖公会京都地方部資料	4・28 ㊤学生基督教青年会の関西総会を京大青年会館で開催(～29日)、部内巡回訪問制度の確立、部内同盟委員会の組織などの件について協議し、低調な青年会運動に新たな展開をはかる。 中外 5・2	
2・16 ㊤真宗京都中学(大谷派)、中学令に基づき大谷中学校と改称。4月から宗門子弟を対象とした特殊中学制度を廃止、一般子弟に開放。 日出 2・20、中外 2・21	4・28 ㊤古義真言宗連立総裁に鎌田観応(東寺派管長、大12・8・8没)を選任。 中外 5・1	
2・20 ㊤金光教、西八条教会設立。 金光教年表	4・28 ㊤本能寺(本門法華宗大本山)本堂立柱式挙行(元治1焼失、大8・4起工)。 中外 4・29	
2・24 ㊤上京区黒谷町の金戒光明寺(浄土宗大本山)に大本山黒谷維持財団を設立。 仏教年鑑 昭6	4・一 ㊤京都仏教護国団、洛西仁和寺に養老院を開設。 中外 5・3	
2・26 ㊤真宗本願寺に真宗本願寺派本山法要財団と本願寺内外布教寺財団を設立、3・13認可。 中外 3・15	5・2 ㊤新京極金蓮寺(時宗大本山)に牧野真碩が晋山。 中外 5・4	
2・一 ㊤真宗大谷派前法主大谷光瑩(現如)没。72歳。 中外、日出 2・18、23	5・10 ㊤粟田口青蓮院に中村勝契晋山。 中外 4・21	
2・一 ㊤神宮司庁で『古事類苑』と『大神宮史』の編纂にたずさわっていた江見清風が、祇園八坂神社の宮司に就任。 中外 4・6	5・11 ㊤洛陽教会で、一般基督教研究者のために、基督教要領講習会を開催(5・27までに5回)。同志社大学の本宮弥兵衛教授と洛陽教会の榎本修牧師が講師となり、基督教思想史と聖書講演とを行なう。 中外 5・16	
2・一 ㊤八坂神社宮司の江見清風、国民精神作興に寄与するため、八坂講演会を設置、毎月1回清々館で、国体ならびに国民道徳・経済・歴史・文学・芸術の公開講演会を開催。 中外 大13・4・6	5・12 ㊤天理教京都教務支庁(丸太町通堀川西入ルに大11末竣工)の落成式挙、管内の教徒300人・信徒2,000人が参拝。 中外 5・12	
3・1 ㊤聖護院門跡に柳田暹暉が晋山。	5・14 ㊤百万遍知恩寺法主に宮沢説音が選任(7・5知恩寺に晋山)。 中外 5・16、7・7	
3・10 ㊤模範活動会社、「大親鸞」を京都市公会堂で公開。 中外 3・7	5・一 ㊤頂妙寺、市社会課計画による境内開放後の同課の無責任な管理体制を批判。 中外 5・9	
3・19 ㊤大秦広隆寺で聖徳太子1300年忌法要執行(導師・清瀧同寺貫首、役僧20人)。 日出 3・21	6・13 ㊤京都帝国大学の各学部学生50名が光明会を結成。 中外 6・6、16	
3・31 ㊤臨濟宗相国寺派管長に橋本独山を再選。 中外 4・3	6・15 ㊤知恩院における布教師大会で浄土宗の実践的対社会運動方針を決議。 中外 6・26	
	6・22 ㊤大谷大学出版の英文雑誌『東方仏教』創刊2周年記念祝賀会、同23日講演会を開催(鈴木大拙「仏教改新の転機」、阿部現亮「屍を履みて」、木村泰賢「仏教研究の方法」など講演)。 中外 6・24	

京	都	府	日	本
6・一 ㊤大谷大学宗教教育研究会設立。 中外 6・20			1・12	日本仏教連合会、政府のローマ法王庁への使節派遣に反対決議。
7・2 ㊤竜谷大学専門部が紛擾し同部全学生が退学処分をうける。 中外			1・一	シルバン=レビイ来日。
8・9 ㊤主務省、浄土宗西山深草派宗制宗規認可、加藤観海、同派管長に復職。 中外 8・14			3・一	常盤大定『支那仏教史跡』刊行。
8・16 ㊤全国から集まる一灯園生活者、家政女学校で大会を開催。 中外 8・12			3・一	天理教全国巡回講習会開催。
8・18 ㊤竜池密雄(京都各本山最古参)、大覚寺管長に就任。 中外 8・19			4・25	聖公会第14総会を東京で開催、東京・大阪両教区設置を決議。
8・29 ㊤古義真言宗東寺派管長に松永昇道を選任。 中外 8・30			4・一	ブルノー=ベツォールト、天台座主吉田源応につき受戒。
8・一 ㊤野々村直太郎(竜谷大学教授)、中外日報で浄土教批判を論じたため、西本願寺から奪度牒処分をうけ僧籍を剥奪される。 中外 8・31			6・25	奈良県五条町の浄土真宗本願寺派僧侶有志、黒衣同盟を組織、教団改革を要求。
9・5 ㊤東本願寺慰問部、9・1東京大地震罹災者避難所として婦人法話会館を開放、市役所出張慰問部も避難者をすべて東本願寺に委託。 中外 9・11			6・28	大本エスペラント研究会発会。
9・10 ㊤西本願寺臨時集会を開き、東京震災罹災者救済費に40万円を決定。 中外 9・11			9・1	神仏道教会所規則施行。
9・上 ㊤関東地方の震災のため、京都市内各派基督教信徒が連合して救援の物資・金品の寄付を募集、京都駅を通過する罹災者を慰問する。 平安基督教会略史、聖公会京都地方部資料			9・1	関東大震災おこり、寺院535カ寺焼失。
9・一 ㊤府、東京震災児童救護のため京都市内13カ寺の協力で分配收容することに決定。 中外 9・11			10・4	金光教教祖40年大祭ならびに祖霊殿臨時祭(7日、10日)。
10・4 ㊤伏見稲荷神社宮司の鈴木松太郎が京都国学院院長に就任。 稲荷年表			11・13	日本基督教連盟創立大会(～14日)、従来の日本基督教会同盟は解消。
10・17 ㊤深谷源次郎(天理教河原町大教会の創設者・初代会長・第3代会長)没(81歳)。10・21大和の「おやさと」で葬儀、参列者数千人。 河原町大教会史			11・一	大住舜岳、パリで没。
10・18 ㊤嵯峨大覚寺勅封般若心経殿建立と現在建物本堂など移築を決定(心経殿は京都帝大教授藤井厚治設計、予算32,065円余)。 中外 3・14、府庁文書 大12-40			12・7	元田作之進、聖公会東京教区主教に就任。
10・25 ㊤聖公会聖三一教会から平安女学院関係者が分離し、聖アグネス教会の設立を決定(12・2、鳥丸通下立売角に教会を設立、早川喜四郎が牧師に就任)。 聖公会京都地方部資料			この年	
10・末 ㊤京都教会に女子青年会を結成(大13・1・19には男子青年会も結成)。 京都基督教会50年史			▷	久保角太郎・若月チセラ、霊友会を開教。
11・8 ㊤海老沢亮(札幌教会牧師)が京都教会牧師に就任(昭2・12・31、辞任)。 同上			▷	僧侶の参政権差別撤廃運動高まる。
11・11 ㊤丹波教会の松山会堂献堂式。 丹波基督教会史			▷	松岡謙、『法城を護る人々』刊行。
11・20 ㊤府、神仏道教会所規則施行細則を制定。 府令105号			▷	鬼倉足日、白川神道により皇道齋修会を組織(昭15皇教と改称)。
11・一 ㊤本門法華宗管長に岡本日盛就任。 官報				

京	都	府
1・15 ㊤京都教会の機関紙『紫明』(月刊)創刊(『京都教報』廃刊となる)。 京都基督教会50年史		7・7 ㊤平安教会青年会主催の第1回夏期学校開催(～12日)、講演は山口金作の「旧約聖書の社会観」、周再賜の「宗教の実際問題」など。 平安基督教会略史
1・22 ㊤新京極大火で誓願寺庫裡・書院焼失。 日出 1・23		7・10 ㊤山口仏教会館(財)、寺町丸太町上ルに設立。 仏教年鑑 昭10
1・一 ㊤古義真言宗8派連合制度に対して山科3派(小野派・醍醐派・勤修寺派)が反対声明を發表、また御室派(仁和寺)・大覚寺派は高野山派に連合することを決議(大14・12、3派連合)。 日出 5・24		7・21 ㊤大本事件第2審判決くだる。不敬罪・紙聞紙法違反で有罪、即日上告。大本事件史
1・一 ㊤臨濟宗大徳寺派管長に円山金提が就任。 官報		7・一 ㊤法華宗管長に小松日期が就任。 官報
1・一 ㊤浄土宗西山深草派管長に山崎覚明が就任。 同上		8・10 ㊤天理教青年会巡回講師の梶本橋次郎・春野貞造が河原町大教会で青年会会員倍加運動を提唱(8・15、各教会に会員倍加運動の激励文を發送)。 河原町大教会史
2・13 ㊤出口王仁三郎、蒙古へ出発。 大本事件史		8・15 ㊤府親和会竹野郡支部(大12創立)、同郡徳光村の成願寺・西念寺で郡内5カ村水平社大会を開催、木村正徹(信楽寺住職)、藤沢專信(道場寺住職)ら出席。 日出 8・22
2・一 ㊤臨濟宗妙心寺派管長に河島昭隠が就任。 官報		9・1 ㊤下京区大和大路東入ル弓矢町の念仏寺(天台宗)を上嵯峨の念仏寺と合併し、愛宕念仏寺と改称。 府庁文書 大13-44
3・1 ㊤村上太五平(丹波教会牧師)没、75歳。 丹波基督教会史		9・15 ㊤京都市とその周辺部にある新教教会が組織強化のために京都基督教連盟を結成。 中外 9・18
3・11 ㊤知恩院において法然上人の浄土宗開宗750年記念法要を執行(宮内省金200円を下付。4月西山光明寺でも執行)。 府庁文書 大13-44、宗報		9・18 ㊤第31回基督教教師会年會を京都で開催(～20日)、海老名暉正ら講演。 中外 8・22
3・12 ㊤巖島神社宮司の高山昇、伏見稲荷神社宮司に就任(昭11.12.19、辞任)。 稲荷年表		9・20 ㊤第40回組合教会總會を三条基督教青年会で開催(～24日)。京都教会ではとくに組合教会婦人伝道會を開催。 中外 9・23、平安基督教会略史
3・13 ㊤浄土宗尼僧団体吉水会久世成章尼ら、尼衆高等教育機関の実現と宗会議員選挙権の獲得を期する旨、決議。 日出 3・14		9・一 ㊤浄土宗西山禅林寺派管長に祖父江圭学、就任。 官報
3・31 ㊤愛宕郡大宮村の曹洞宗安寧寺に紫竹財団を同寺経営と僧侶養成のために設立。 仏教年鑑 昭6		10・13 ㊤下京区柿本町の日蓮宗本園寺に同寺の教学振興のため故吉田茂八の遺志に基づき光山教学持興吉田財団を設立。 仏教年鑑 昭6
3・一 ㊤豊国神社再興50年祭・北政所300年祭の事業を賛助するため豊国会を設立。 豊国神社誌		10・26 ㊤綾部の丹陽教会會堂の改築落成、献堂式を举行。 日出 12・27、丹波基督教会史
4・8 ㊤京都仏教婦人会12団体の連盟結成。 日出		11・3 ㊤一灯園主西田天香、烏丸頭下総町に灯影塾を開校、托鉢と授業を兼修。 日出 10・5
5・11 ㊤丹波教会創立40年記念礼拝が亀岡會堂で行なわれる(西尾幸太郎、「我に居れ」と題して説教)。 丹波基督教会史		11・12 ㊤京都教会の海老沢亮牧師、満州・朝鮮地方を巡回伝道(～12・5)。京都基督教会50年史
5・13 ㊤全国神道各派連合主催の神道連合大講演會を岡崎會堂で開催。 中外 5・8		11・13 ㊤千葉県長生郡の法光寺(顕本法華宗)を舞鶴方面の同宗信徒増加のため加佐郡新舞鶴町字浜へ移転し、信行寺と改称。府庁文書 大15-41
5・一 ㊤真言宗泉涌寺派管長に法性有鑾が就任。		12・8 ㊤皇后陛下、同志社女学校に行啓、朝拝と授業を參觀。 同志社90年小史
5・一 ㊤臨濟宗妙心寺派管長に五葉愚溪が就任。 宗報		12・13 ㊤福知山町常照寺住職靈山英智、同町字天田に日蓮宗弘教會所を設立。 府庁文書 大13-47
6・9 ㊤島田瑞穂が護王神社宮司に就任(昭2・8・13辞任)。 護王神社誌		
6・一 ㊤臨濟宗東福寺派管長に尾関本孝が就任。 官報		

参	考	日	本
		1・31	石川照勳(成田山新勝寺住職)没(54歳)。
		2・19	清浦首相、神仏基3教代表者を招き、国民精神作興・思想善導につき懇談。
		3・1	天理教校内に研究科を設置。
		3・6	大本、中国道院と提携。
		3・一	東京浅草寺病院建立。
		3・一	高楠順次郎、武蔵野女子学院を開設。
		4・2	金森梅子(大日本大道教開祖)没(74歳)。
		4・8	高楠順次郎・渡辺海旭ら、『大正新修大藏經』(～昭9・1・30)刊行。
		5・17	立正大学設立認可。
		5・一	大正大藏經編纂會、機関誌として仏教総合雑誌『現代仏教』を創刊。
		6・25	神道宣揚會のよびかけで神仏基各教有志、日本宗教懇談會を設立。
		6・一	権田雷斧、中国潮州の開元寺で伝法灌頂を受ける。
		7・一	組合教会理事会、米国における「排日制度制定に対する決議書」を發表。
		9・10	小崎弘道、『日本組合基督教会史』刊行。
		9・10	内村鑑三、『羅馬書の研究』刊行。
		9・20	宇井伯寿、『印度哲学研究』(～昭6・5・14、9卷)刊行。
		9・一	河口慧海、『漢藏対照勝鬘經』刊行。
		10・7	日本基督教連盟第2回總會(～10日)、全国教化運動を決定。
		10・26	御木徳一、人徳教を開設。
		10・一	天理教、ローマ宗教博覧會へ「英文天理教」・「写真天理教」その他の参考品を出展。
		11・一	東京帝大の仏教青年會館建立。
		12・一	聖徳太子奉讃會結成(総裁久邇宮邦彦)。
		この年	▷ 多田等観、チベットから帰国。 ▷ 出居清太郎、修養団平和會設立。
↗	12・27 ㊤下京区若宮通花屋町上ル法光寺野村純円、雑賀講真宗説教所(仏具屋五条下ル布屋町)の設立を認可される。 府庁文書 大13-47		
	この年		▷ ㊤三千院門跡梅谷孝永、如法院門跡に就任。 府庁文書 大13-44 ▷ ㊤松ヶ崎涌泉寺内宗門公論学(社主深見耀宏)が月刊『宗門公論』を創刊。

京	都	府
1・4 ㊤丹波教会は伊藤昌義の応援により、胡麻に日曜学校を開設。 丹波基督教史	7・10 ㊤上告審で出口王仁三郎に対する原判決を破棄し、事実審理開始を決定(昭2・5・17、免訴の言渡し)。 大本事件史	
1・5 ㊤伏見稲荷神社の大山祭神事を日活(映画社)が撮影(8・12試写会)。 稲荷年表	7・18 ㊤浜谷府社課員、中郡と熊野郡で社寺震災被害調査を実施。 日出 7・19	
1・10 ㊤葛野郡嵯峨町の曇華院所有書画器具41点を、数年来の物価騰貴で売却。 府庁文書 大12-38	7・27 ㊤愛宕郡八瀬村の妙伝寺山林が叡山電気鉄道敷設のため売却。 府庁文書 大12-38	
1・14 ㊤京都教会、創立40年記念式を挙る。 <sup>(1)</sup> 京都基督教史50年史	7・一 ㊤大谷大学学友会、『観想』を創刊、年4回発行。 仏教年鑑 昭5	
1・22 ㊤森田新兵衛ら、真言宗醍醐教会の上賀茂分教会所を上賀茂村大字上賀茂字深泥池に設立。設立費は6,419円余、担任教師は山田広円(醍醐三宝院勤務)。 <sup>(2)</sup> 府庁文書 大14-45	7・一 ㊤黄檗宗管長に星野直翁を任命。 官報	
2・23 ㊤加佐郡東大浦村の臨濟宗東福寺派海臨寺に瑞光山海臨寺維持財団を設立。 仏教年鑑 昭6	8・15 ㊤栗田口の青蓮院(天台宗)に青蓮院維持財団を設立。 仏教年鑑 昭6	
3・1 ㊤聖公会聖マリア教会委員会が会館建築を決定(4・5に募金方法を決定)。 聖公会京都地方部資料	9・22 ㊤大谷光暢、大谷光演辞職のため真宗大谷派管長に就任、10・10伝灯式を執行。 官報、日出 12・29	
4・1 ㊤聖公会復活教会内に英語語学会(主任、巽芳三郎)を開設(5・1裁縫学校も開設)。 同上	9・23 ㊤天理教府内分教会、大阪北大教会所属を離れ、本部直属教会となる。 天理教要覧	
4・8 ㊤本能寺本堂上棟式挙行。日出 4・7	9・24 ㊤大谷光演に大谷家破産申請訴訟(12・18大谷光暢の限定相続を決定)。 日出 12・29、31	
4・19 ㊤相楽郡祝園村の宝住寺落成。 日出 4・19	10・13 ㊤上京区清水町の法雲寺境内地が河原町線拡張の用地となる。 府庁文書 大12-38	
4・25 ㊤網野町網野神社境内に蚕織神社が奉祠され鎮座祭を執行、知事参列。 日出 4・27	10・21 ㊤林丘寺所蔵雪舟屏風、同寺維持金のため売却を認可。 府通牒 4社1470	
5・1 ㊤舞鶴桂林寺の三河啓明ら、夜間中学課程研究会を設立し桂林寺を仮教場に発会式を挙げ2日から夜間授業を開始。 日出 5・4	11・29 ㊤丹波教会の亀岡会堂で、第1回聖書研究会開催、亀岡農学校生10数人集まる。 丹波基督教史	
5・2 ㊤京都基督教連盟(聖公会は加盟せず)の教化運動開始(～9日)。 <sup>(3)</sup> 中外 5・2	11・一 ㊤竜谷大学学制審議会が非公式に政治科・経済科を設置し総合大学とする意見で一致し具体案を作製。 日出 11・5	
5・5 ㊤天理教西陣分教会が新築落成奉告祭を行なう。 河原町大教会史	12・2 ㊤金光教、高野教会を設立、24日白川橋教会、26日西ノ京教会も設立。 金光教年表	
5・23 ㊤聖公会復活教会は教会堂うらの納屋を改築し聖堂とする。 聖公会京都地方部資料	12・22 ㊤洛西粟生光明寺が善導忌記念事業として宗議会で乙訓郡に高等女学校設立を決議(昭2・4に開校、大12和歌山市に開設した修徳高等女学校の姉妹校として地方文化発展が目的)。 日出 12・26	
6・3 ㊤私立花園中学生徒100余人が同盟休校を断行。従来臨濟宗妙心寺派子弟の教育機関であったのが、4・20に一般子弟に開放する普通の私立中学組織となり、その是非をめぐり校内で激論。 日出 6・6	12・26 ㊤市民クリスマスを岡崎公会堂で開催、外人少女隊の合唱・童話・管絃楽などがある。主催は京都基督教連盟・京都基督教青年会・京都女子青年会・京都日曜学校連盟。 中外 12・22	
6・9 ㊤大本、人類愛善会を結成。8・1『人類愛善新聞』創刊。 大本70年史	12・一 ㊤真言宗高野派・御室派・大覚寺派合同で古義真言宗と改称。 官報	
6・11 ㊤中郡各宗連合会が峰山全性寺で、12日何鹿郡仏教慈悲会が綾部西福院で、それぞれ但馬丹後震災者追悼会を執行。 日出 6・11、12	この年 ▷ ㊤聖公会では、松ヶ崎と太秦安井に日曜学校を開設。 聖公会京都地方部資料	
6・一 ㊤知恩院経営の尼衆学校出身者と各尼寺住職が不良少女を感化するため吉水教団を浄福寺内に設立、主任は高橋信照尼。 日出 7・23	▷ ㊤二条離宮西の等覚寺に保護少年を収容するため、常盤学園を設立。 日出 5・14	
6・一 ㊤梅原真隆、月刊『道』を創刊。 仏教年鑑 昭5	▷ ㊤西陣の村雲日浄尼、村雲婦人会事業として堀川今出川の同門跡付近で会館建設に着手。 日出 4・20	
7・9 ㊤曹洞宗宗務所、竹野郡間人町の竜雲寺で震災横死者追悼会を執行。 日出 7・9		

参	考	日	本
(1)	記念事業として教会堂・牧師館の新築を計画、5月初旬、5・25、6・11、7・16に委員会が開かれ、募金方法を具体的に決定、募金予定額3万円・期間3カ月として着手、7月には創立40年記念伝道を開始。	1・6	深田イチ(円応教開祖)没(39歳)。
(2)	本年度仏教関係教会所設立:6・16、福知山町常照寺栗山英智が天田郡細見村に日蓮妙徳教会所を設立。7・23、栗山靈智が福知山町字裏に日蓮宗妙法教会所を設立。8・7船井郡園郡町の妙光寺川端英即が同郡須知町に日蓮宗長栄教会所を設立。9・24、藤田陽郁(修験道教師)が上京区小伝馬町に真言宗醍醐派教会京都三光分教会を設立。この年、伏見明寿院の風呂はなが木津町に真言宗醍醐教会木津分教会所を設立。 府庁文書 大14-45	1・8	植村正久没(69歳)。
(3)	5・2岡崎公会堂で大講演会を開催。神戸女子神学校教授の織田やす子の「斯く疑へど」、松本益吉の「人心の要求」などの講演。5・3～9、加盟各教会で講師数人により講演・大祈禱会を開催。	2・17	天理外国語学校設立。
		2・17	奈良盲啞学校、天理教の施設に移管。
		2・25	姉崎正治、『切支丹宗門の迫害と潜伏』刊行。
		3・7	天理養徳院内に、天理尋常小学校設立、4・25開校。
		3・30	駒沢大学設立認可。
		4・14	岡山県金光の金光教大教会所ならびに付属舎炎上(昭1・2、仮神殿竣工)。
		4・20	ニケヤ会議1600年祭、聖公会聖アンデレ教会で開催。
		4・一	矢吹慶輝、『三階教之研究』で恩賜賞を受ける。
		5・20	北京で世界宗教連合会発会。
		6・11	大本の西村宣伝使渡仏、翌年『国際大本』刊行。
		8・26	天理教教庁職制制定。
		10・15	京城に朝鮮神宮創建(祭神、天照大神・明治天皇)。
		10・一	東亜仏教大会、東京芝増上寺で開催。
		12・7	建国祭準備総会開催。
		この年	
		▷	宮本正尊、『大乘仏教』(英文)刊行。
		▷	大西愛次郎、奈良県に天理研究会(ほんみち)を開教。
		▷	久保角太郎と小谷キミ、霊友会を結成。

京	都	府
1・15 ㊤真言宗京都大学、専門学校令により真言宗京都専門学校と改称。 ☆種智院大学		5・16 ㊤御室仁和寺成就山88カ所開創100年記念法要を執行(～18日)。 日出 5・16
1・19 ㊤京大・三高の基督者有志が、三高帝大基督教研究会を設立、室町教会牧師の日高善一を招いて連続基督教研究講座を開く。中外 1・9		5・23 ㊤京都婦人連合会が婦人人事相談所を了徳寺(河原町四條上ル)内に設置し、家庭問題、法律問題、疾病出産託児などの相談所とする。 日出 5・24、11・23
1・一 ㊤花園の臨濟宗大学内禅学研究会(代表久松真一)が『禅学研究』を創刊。 仏教年鑑 昭6		5・27 ㊤知恩院の山下現有、総本山知恩院祠堂資団(財団法人)設立に同院所有永代祠堂金総額391,917円余を寄付。 府庁文書 大15-41
1・一 ㊤上京区鹿ヶ谷の仏座社曾我量深・金子大栄ら、月刊『仏座』を創刊。 仏教年鑑 昭5		5・一 ㊤智山大学内の我社(代表者高津覚昇)、密教研究のため月刊『我』を創刊。 仏教年鑑 昭5
1・一 ㊤竜谷大学新聞社、月刊『竜谷新聞』を創刊。 同上		6・10 ㊤各種教化団体連合会、府社会課の後援で迷信打破の研究会を開催、内務省嘱託加藤咄堂が仏教・神道に付随する迷信について講演。 <sup>(6)</sup> 日出 5・27、6・13
1・一 ㊤臨濟宗化仏運動の緒方宗伝、月刊『化仏』を創刊。 同上		6・18 ㊤京都博物館で宗教画展を開催。 <sup>(7)</sup> 日出 6・20
1・一 ㊤黒谷金戒光明寺法主に郁芳随円が就任、4・4同寺に晋山。 浄土教報、日出 3・26		6・一 ㊤東本願寺、宗教制度調査会を設置 <sup>(8)</sup> (会長、寺務総長稲葉昌丸)。 日出 6・10
1・一 ㊤真言宗泉涌寺派管長に椋本竜海 <sup>(1)</sup> を任命、2・13泉涌寺に晋山。 日出 2・14		6・一 ㊤全仏教布教師大会を京都市公会堂で開催し神社問題を討議。 朝日年鑑
3・6 ㊤佐々木月樵 <sup>(2)</sup> (大谷大学長)没、52歳。 宗報		6・一 ㊤真宗興正寺内真宗公論社(代表華園真淳)、月刊『真宗公論』を創刊。 仏教年鑑 昭5
3・20 ㊤丹波教会、殿田の吉田八重宅で家庭集會を開催。これ以後、毎土曜夜集會が持たれる(7・11に殿田駅前に借家し日曜学校を開校、吉田八重が指導)。 丹波基督教史		6・一 ㊤聖公会の聖三一教会婦人会が週1回健康相談を開く(1年間継続)。 聖公会京都地方部資料
3・20 ㊤金光教の西賀茂教会設立(8・10須知教会、12・9西院教会も設立)。 金光教年表		7・9 ㊤内貴甚三郎没 <sup>(9)</sup> (79歳)。 日出 7・10
3・25 ㊤綾部に養蚕神社の社殿建立を決定(現存の熊野神社と並べて建立し、拜殿は両社兼用とする)。工費は綾部町・中筋村ほか12カ村が各1万円ずつ分担出金(7月末、1人も出金せず建設難行、キリスト教徒の猛反対による)。 日出 3・27、8・7		7・12 ㊤真言宗京都中学、東寺中学校と改称。 ☆
4・1 ㊤蓮華谷火葬場、衣笠区の委託経営から京都市の直営に変更し開設(大15の予算に火葬場使用料、13,738円の歳入と16,606円の歳出を見積もる)。 日出 3・31、4・2		7・一 ㊤京都仏教慈善財団経営の六条診療所を開設。 教界一聞
4・19 ㊤洛東東福寺の恵日幼稚園開園式挙行 <sup>(9)</sup> (東福寺派管長尾関本孝が園主となり、同寺塔頭莊嚴院高橋浩洲が園長に就任、園児は男女90人)。 中外 大14・7・24		7・一 ㊤聖公会では、伏見講義所・伏見聖公会伏見基督教講所と呼ばれている同派の教会を、伏見基督教会と改称。 聖公会京都地方部資料
4・一 ㊤京都市衛生課、市有と学区有の墓地整理を計画(2・5市有地のみ着手) <sup>(4)</sup> 。 日出 4・21		7・一 ㊤京都神職連合会では、神道教化運動の手はじめとして、府下神社の需要に応じて活動写真を貸出すことにする。 中外 7・21
4・一 ㊤聖公会聖三一教会の安島八郎伝道師が、上京区小山堀池町6番地の自宅で講義および礼拝を開始。 聖公会京都地方部資料		8・15 ㊤舞鶴町の天主公会堂の竣工落成式(約70坪、木造平屋建、仮聖堂兼伝道場・付属修養館。これまで、聖室として旧裁判所の庁舎を使用)。 日出 8・13
4・一 ㊤東本願寺門主第24世大谷光暢伝灯披露式挙行。 日出 4・17		8・一 ㊤聖公会、下鴨基督教教会用地として下鴨中川原町72番地に81坪購入(9月、教会兼牧師館建築起工。12・21、竣工)。 聖公会京都地方部資料
5・6 ㊤乙訓郡大原野村の蔵王寺を東京代々幡町代々木へ移築し、目白僧園とすることに決定。 <sup>(5)</sup> 府庁文書 大15-41		9・7 ㊤府、寺院境内地と寺院建物を他人に使用させているものを調査する旨告示。 府通牒 5社2242号

参	考	日	本
(1) 椋本竜海：明2・8・5福島県那賀郡椿河村に生まる。10歳のとき同村福蔵寺で得度、高野山大学を経て東洋大学を卒業、明30・11以来28年間泉涌寺寺務長を勤める。		1・15	天理教教祖40年祭(1・20、25)。
(2) 佐々木月樵：明8・4・13愛知県碧海郡安城町願力寺に生まる。明25・8京都に上り、東本願寺で得度、明27・9東本願寺第一中学寮に編入、明33・7真宗大学卒業。同9・30東京で清沢満之の浩浩洞に止宿、明46・9再び大谷大学(京都)教授に迎えられ、大10・8・4沢柳政太郎・小西重直らと共に欧米視察、大12・10・1大谷大学長事務取扱に、翌年4月に同大学長に就任。		2・17	真田増丸没。
(3) 東福寺恵日幼稚園：大10・10・23設立認可、大15・1・30竣工、大15・3・15開園。園長高橋高洲は東洋大学卒業後、四国今治中学教師となり、大14・4東福寺莊嚴院に転住。東福寺大方丈で臨濟宗大学童話研究部員の協力により、大14・4慧日日曜学校を開設、ついで東福寺信徒大西幾太郎(本町12丁目の材木商)から設立経費を寄付されて恵日幼稚園を設立。東福寺には、このころ宇佐玄雄が開設した神経系統の病院、三聖病院があった。		3・一	辻善之助・鷲尾順敬、『明治維新神仏分離史料』刊行。
(4) 市有および区有墓地：市有墓地は、上京の住吉山・若王山・大日山、下京の清水山・地藏山の5カ所で総面積3万600余坪、学区有および学区共有墓地71カ所で1万2千余坪。これらの実際使用地は5分の1に足らずでそれを整理し、一つの財源を見出すために計画。 日出 4・21		4・一	大正大学・高野山大学設立認可。
(5) 蔵王寺移転：釈真戒、釈雲照(明42没)が理想的教団として設立した目白僧園を新長谷寺(東京目白台)から東京都豊摩郡代々幡町代々木へ移転するため大原野蔵王寺を移築。 府庁文書 大15-41		5・13	宗教制度調査会官制公布(教派神道仏教各派、宗教法案反対運動を展開)。
(6) 府社会課が配布した同講演要旨の印刷物に対して、府社寺課が敬神の根本義に疑惑を抱かすと横槍を入れたため、両課の確執が拡大した。		6・25	宇井伯寿、『印度哲学研究』刊行。
(7) 宗教画展公開品物：浄土五祖像(二尊院蔵)・山越阿弥陀如来像(禅林寺蔵)・山越阿弥陀如来像(金戒光明寺蔵)・二十五菩薩来迎図(禅林寺蔵)・阿弥陀熊野山影向図(檀王法輪寺蔵)・法然上人行状画図48巻のうち2巻(知恩院蔵)・観経曼荼羅(西方寺蔵)・成菩提院蔵)・仁王経曼荼羅(醍醐寺蔵)・五秘密曼荼羅(神護寺蔵)・八葉曼荼羅(斑鳩寺蔵)。		7・30	桜井義肇没(57歳)。
(8) 宮谷法舎・藤岡了淳・権岡正行・和田円什・阿部恵水・竹中茂丸・関根仁応・安田力・溪内戒恵・近角常観らが委員、下間空教が顧問。		10・11	救世軍司令官ブース大将来日。
		10・20	力久辰三郎(善隣会開祖)没(67歳)。
		11・15	平泉澄、『中世に於ける社寺と社会との関係』刊行。
		11・29	聖公会ロンドン主教のイングラム博士来日。
		この年	▷ 東京帝国大学に印度哲学第3講座を増設(島地大等、講師を担当)。

京 都 府
<p>9・17 ㊤府親和会、天田郡で融和事業講習会を開催(竜谷大学教授梅原真隆が講演、神官・僧侶らが参加、ついで竹野郡で開催、～20日)。 府通牒 5社会1331号</p> <p>9・30 ㊤知恩院に同院祠堂財団を設立。 仏教年鑑 昭6</p> <p>10・4 ㊤柳谷楊谷寺住職日下俊隆、宇治町に楊谷寺宇治教会所の設立を決定。 府庁文書 大15-44</p> <p>10・5 ㊤紫野今宮神社の楼門上棟式挙行、西陣青年団員の提灯行列などが行なわれる。 日出 10・6</p> <p>10・17 ㊤平安教会創立50周年記念講演会を開催、清水安三・田中竜夫が講演(11・21に第2回目、11・28に第3回目の記念講演開催)。 平安基督教会略史</p> <p>10・25 ㊤府下教化団体連合協議会を府庁内で開催。「全国の各教化団体挙って丙午迷信打破に努力する件」を決議。 日出 10・27</p> <p>10・25 ㊤府社会課が主催で府下融和団体協議会を開催、西本願寺一如会・東本願寺真身会ほか府親和会など4団体が参加し京都府融和団体連合会規約(事務所府庁内)をつくる。 日出 4・30、10・26</p> <p>11・3 ㊤京都府皇典講究所・京都国学院が洛東豊国廟太閤垣下に新築落成、竣工式挙行。 日出 11・3</p> <p>12・2 ㊤吉水教団主高橋信照・信愛保育園主園部哲・大照学園長竹内大観・東寺託児所主事石田整碩・同草葉隆園・同大南永次郎ら16人が推薦されて、東京における中央社会事業協会主催全国児童保護事業会議に出席。 日出 12・1</p> <p>12・3 ㊤同志社教会の創立50周年記念特別伝道を実施(～昭2・1・23)。 熊本バンド研究</p> <p>12・4 ㊤近畿童話会設立。同会は童話の実演や創作の研究を目的とする近畿童話作家連盟で、黄檗教団師家安部禅梁・丹後真宗少年団泉寛暢・西応寺仏教子供会奥野恵刀ら出席。 日出 12・6</p> <p>12・7 ㊤東本願寺法主大谷光暢、相続財産の破産宣告をうける。 中外 12・9</p> <p>12・20 ㊤宇治町宮の火葬場竣工。</p> <p>12・一 ㊤京都仏教護国団、市内の十三参りの弊害(土俗的風習にある美衣装飾や迷信など)を改め、新たな十三詣りデーの助成を行なう運動方針を決議。 中外 12・16</p> <p>この年 ▷ ㊤S.H.ニコルス、聖公会京都地方部監督に就任。日本聖公会100年史、聖公会京都地方部資料</p>

参 考	日 本
<p>(9) 内貴甚三郎：名勝古社寺の維持保存に貢献。銀閣寺会・嵯峨二尊院保存会・醍醐会・真如会・寂光院保存会・京都保勝会などに干与、妙心寺・広隆寺・八坂法観寺・知恩院・南禅寺・仁和寺・清水寺などの信徒総代をつとめた。日出 7・10</p>	